

Ⅱ インタビュー調査（生涯学習促進に係る意識調査）

1. 調査の概要

- 調査の目的 今後の社会教育・生涯学習行政における施策及び事業の在り方を探るうえでの基礎資料として、日頃、学習活動を行っていない人（行えない人）の学習ニーズ、ライフスタイル等を把握する。
- 調査対象 この1年間、学習活動を行っていない（行えなかった）市内在住の満18歳以上の男女（調査日現在）
- 調査方法 地域コミュニティ推進課及び生涯学習課の主査級以下の職員（嘱託員含む）で組織した調査団により、街頭インタビューを行った。
（参考）地区公民館職員の研修として位置づけて実施
- 調査期間 平成30年8月16日～9月15日（土・日曜及び祝日を含む）
（調査基準日は調査日）
- 調査場所 大型商業施設、大牟田市役所
- サンプル数 173件

< 調査項目 >

- ◇回答者属性（性別、年齢等）……………5問
- （1）生涯学習について……………6問
 - 学習活動をししない理由（できない理由）
 - 学習活動の意欲
 - 休日や余暇の過ごし方
 - 学習ニーズ
 - 行政に対する要望 など
- （2）地域活動・ボランティア活動について……………7問
 - ボランティア活動・地域活動の参加状況
 - ボランティア活動・地域活動に参加していない理由
 - ボランティア活動・地域活動の内容
 - 小学校を支援する取組みへの参加意向
- （3）地区公民館について……………3問
 - 地区公民館の認知度と利用状況
 - 地区公民館を利用した理由
 - 地区公民館を利用しない理由
- （4）自由記述（生涯学習や地域づくりに関するご意見・ご要望）……1問

（計 22 問）

< 調査結果利用上の注意 >

- 文章や表、グラフの数値は小数点以下2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならないことがある。
- 2つ以上の回答を求めた（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。

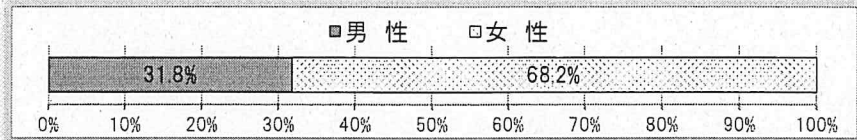
生涯学習促進に係る意識調査

2. 調査結果

回答者属性

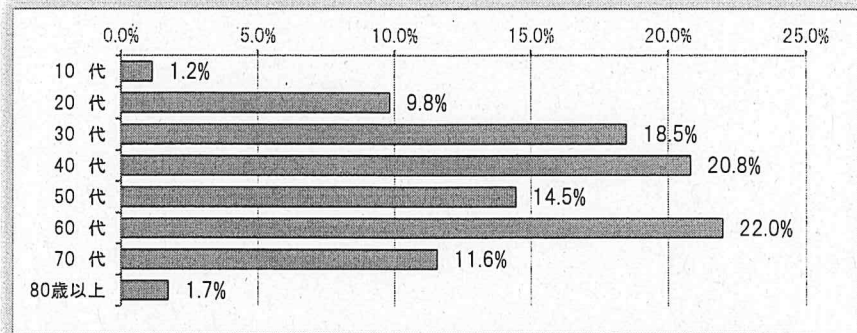
◆性別(調査員で判断)

1	男 性	55人	31.8%
2	女 性	118人	68.2%
	無回答	0人	0.0%
	合 計	173人	100.0%



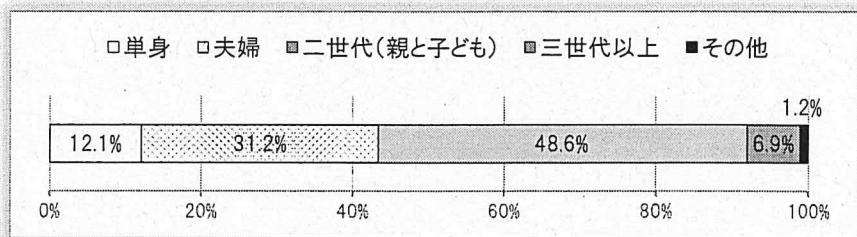
◆年齢(調査日現在)

1	10 代	2人	1.2%
2	20 代	17人	9.8%
3	30 代	32人	18.5%
4	40 代	36人	20.8%
5	50 代	25人	14.5%
6	60 代	38人	22.0%
7	70 代	20人	11.6%
8	80歳以上	3人	1.7%
	無回答	0人	0.0%
	合 計	173人	100.0%



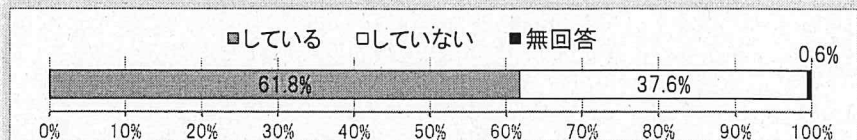
◆家族構成

1	単身	21人	12.1%
2	夫婦	54人	31.2%
3	二世世代(親と子ども)	84人	48.6%
4	三世世代以上	12人	6.9%
5	その他	2人	1.2%
	無回答	0人	0.0%
	合 計	173人	100.0%



◆仕事の有無

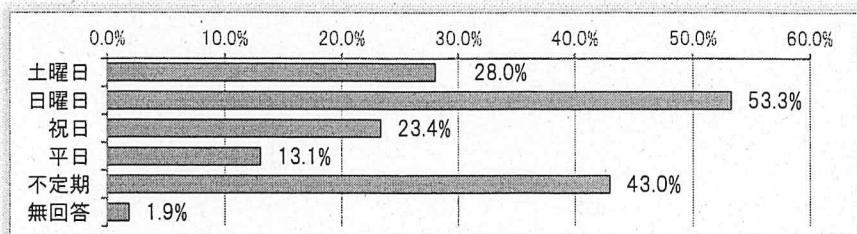
1	している	107人	61.8%
2	していない	65人	37.6%
	無回答	1人	0.6%
	合 計	173人	100.0%



◆休日(複数回答可)

1	土曜日	30人	28.0%
2	日曜日	57人	53.3%
3	祝日	25人	23.4%
4	平日	14人	13.1%
5	不定期	46人	43.0%
	無回答	2人	1.9%

(N=107)



(1)生涯学習について

◆学習活動の実施状況

問1 あなたはこの1年くらいの間に、趣味、教養、健康づくりなど、何かしらの講座や教室、研修などに参加したり、自分で何かを調べたり、学習をしたことはありますか。

(単位:%)

1	あ	る	0人	0.0
2	な	い	173人	100.0
	無	回	0人	0.0
	答			

◆学習活動をしない理由(できない理由)

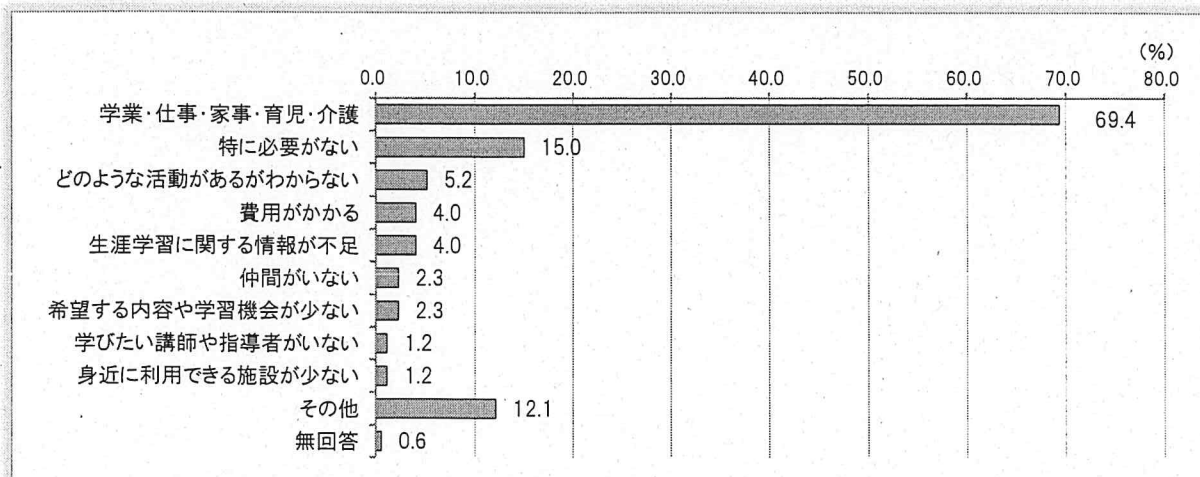
問2 学習活動をしない理由(できない理由)を教えてください(複数回答可)。

学習活動をしない理由(できない理由)は、「学業・仕事・家事・育児・介護」(69.4%)が最も高く、次いで、「特に必要がない」(15.0%)、「どのような活動があるかわからない」(5.2%)、「費用がかかる」、「生涯学習に関する情報が不足」(4.0%)となっています。

年代別に見ても、全ての年代において「学業・仕事・家事・育児・介護」の割合が最も高くなっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以上
サ ン プ ル 数	173人	55人	118人	19人	32人	36人	25人	38人	23人
1 学業・仕事・家事・育児・介護	69.4	54.5	76.3	78.9	78.1	77.8	80.0	63.2	34.8
2 仲間がいらない	2.3	1.8	2.5	0.0	3.1	0.0	4.0	2.6	4.3
3 費用がかかる	4.0	0.0	5.9	5.3	9.4	2.8	0.0	2.6	4.3
4 どのような活動があるかわからない	5.2	7.3	4.2	0.0	15.6	2.8	0.0	5.3	4.3
5 学びたい講師や指導者がいない	1.2	0.0	1.7	0.0	3.1	2.8	0.0	0.0	0.0
6 身近に利用できる施設が少ない	1.2	1.8	0.8	0.0	3.1	0.0	4.0	0.0	0.0
7 希望する内容や学習機会が少ない	2.3	1.8	2.5	0.0	3.1	2.8	4.0	2.6	0.0
8 生涯学習に関する情報が不足	4.0	5.5	3.4	0.0	12.5	2.8	4.0	2.6	0.0
9 特に必要がない	15.0	20.0	12.7	10.5	9.4	16.7	8.0	18.4	26.1
10 その他	12.1	18.2	9.3	10.5	3.1	8.3	12.0	13.2	30.4
無回答	0.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3



※「その他」の回答(全21件)のうち、最も多い記述は「健康に関すること」(5件)・・・2.9%(N=173)

◆学習活動の意欲

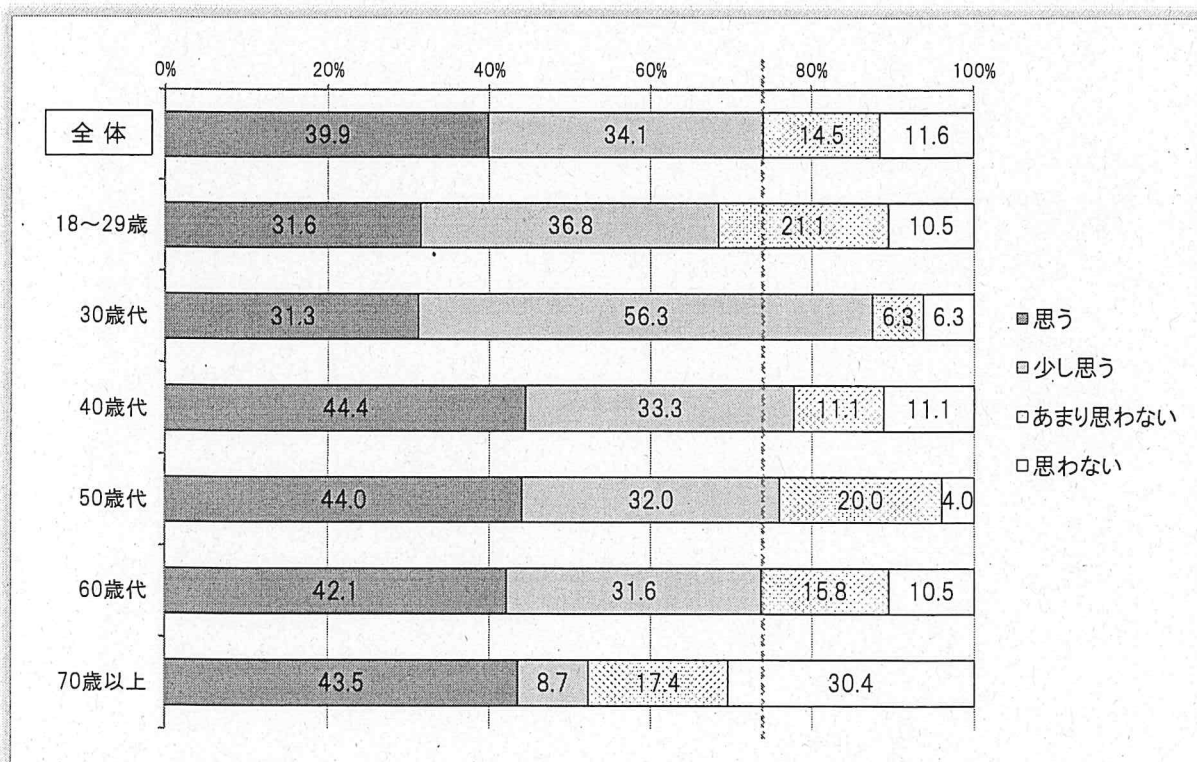
問3 もし、それらのことがなかったら、何か学んでみたいと思いますか。

日頃、学習・活動を行っていない人(行えない人)の学習意欲については、「思う」(39.9%)と「少し思う」(34.1%)を合わせると、全体の7割以上(74.0%)の人が何かを学んでみたいと思っています。

年代別に見ると、30歳代が最も高く、9割近く(87.6%)の人に学習意欲があり、次いで、40歳代(77.7%)と50歳代(76.0%)が高く、いずれも8割近くにおよんでいます。70歳以上(52.2%)は、他の年代と比べて低くなっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ~ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サンプル数	173人	55人	118人	19人	32人	36人	25人	38人	23人
1 思う	39.9	29.1	44.9	31.6	31.3	44.4	44.0	42.1	43.5
2 少し思う	34.1	34.5	33.9	36.8	56.3	33.3	32.0	31.6	8.7
3 あまり思わない	14.5	20.0	11.9	21.1	6.3	11.1	20.0	15.8	17.4
4 思わない	11.6	16.4	9.3	10.5	6.3	11.1	4.0	10.5	30.4
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



◆休日や休暇の過ごし方

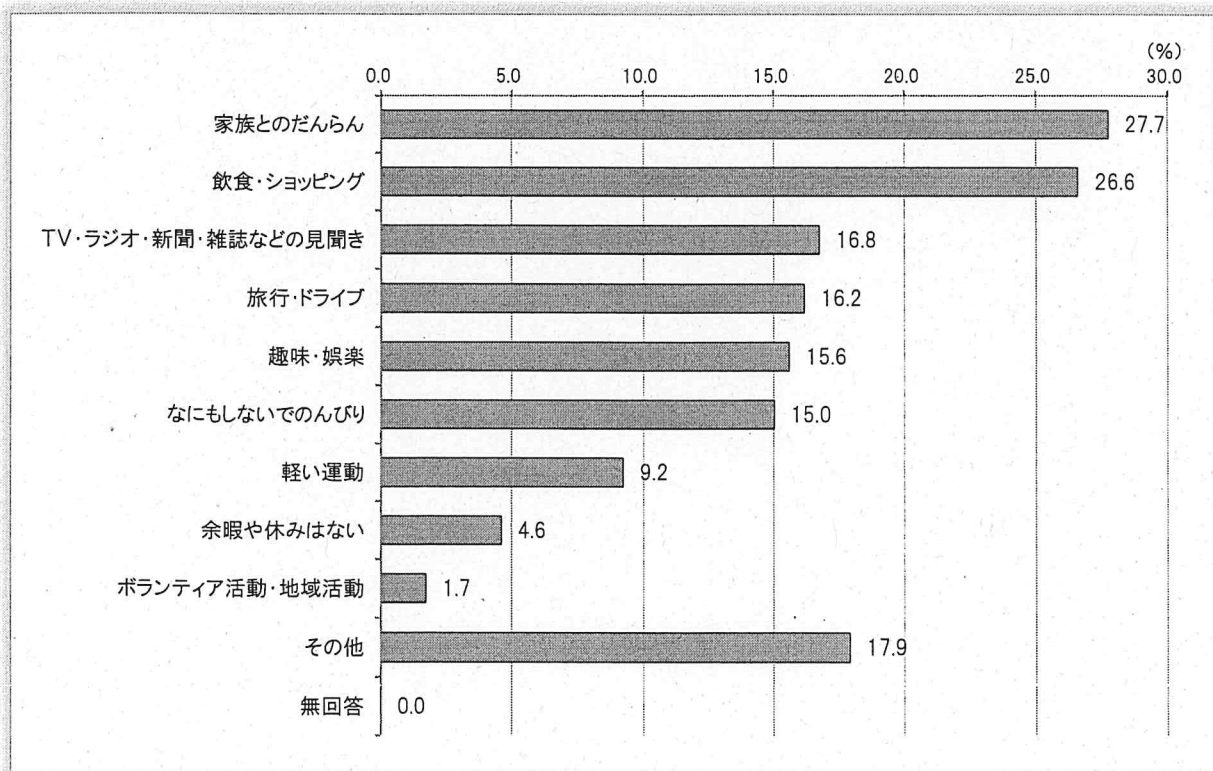
問4 休日や余暇は、主に何をして過ごしていますか(複数回答可)。

休日や余暇の過ごし方は、「家族とのだんらん」(27.7%)が最も高く、次いで、「飲食・ショッピング」(26.6%)、「TV・ラジオ・新聞・雑誌などの見聞き」(16.8%)、「旅行・ドライブ」(16.2%)、「趣味・娯楽」(15.6%)、「何もしないでのんびり」(15.0)%となっています。

年代別では、30歳未満は「趣味・娯楽」、30～40歳代は「家族とのだんらん」、50～60歳代は「飲食・ショッピング」、70歳以上は「なにもしないでのんびり」、「飲食・ショッピング」が同率で最も高くなっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以上
サ ン プ ル 数	173人	55人	118人	19人	32人	36人	25人	38人	23人
1 なにもしないでのんびり	15.0	20.0	12.7	5.3	6.3	11.1	8.0	26.3	30.4
2 TV・ラジオ・新聞・雑誌などの見聞き	16.8	27.3	11.9	10.5	18.8	13.9	12.0	26.3	13.0
3 家族とのだんらん	27.7	27.3	28.0	21.1	43.8	36.1	20.0	26.3	8.7
4 軽い運動	9.2	10.9	8.5	5.3	15.6	2.8	4.0	13.2	13.0
5 趣味・娯楽	15.6	23.6	11.9	31.6	9.4	11.1	20.0	13.2	17.4
6 飲食・ショッピング	26.6	16.4	31.4	10.5	28.1	22.2	36.0	28.9	30.4
7 旅行・ドライブ	16.2	21.8	13.6	21.1	25.0	13.9	16.0	15.8	4.3
8 ボランティア活動・地域活動	1.7	1.8	1.7	0.0	0.0	2.8	0.0	5.3	0.0
9 余暇や休みはない	4.6	1.8	5.9	5.3	3.1	8.3	4.0	5.3	0.0
10 その他	17.9	12.7	20.3	10.5	12.5	19.4	20.0	18.4	26.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



※「その他」の回答(全31件)のうち、最も多い記述は「家事」(15件)・・・8.7%(N=173)

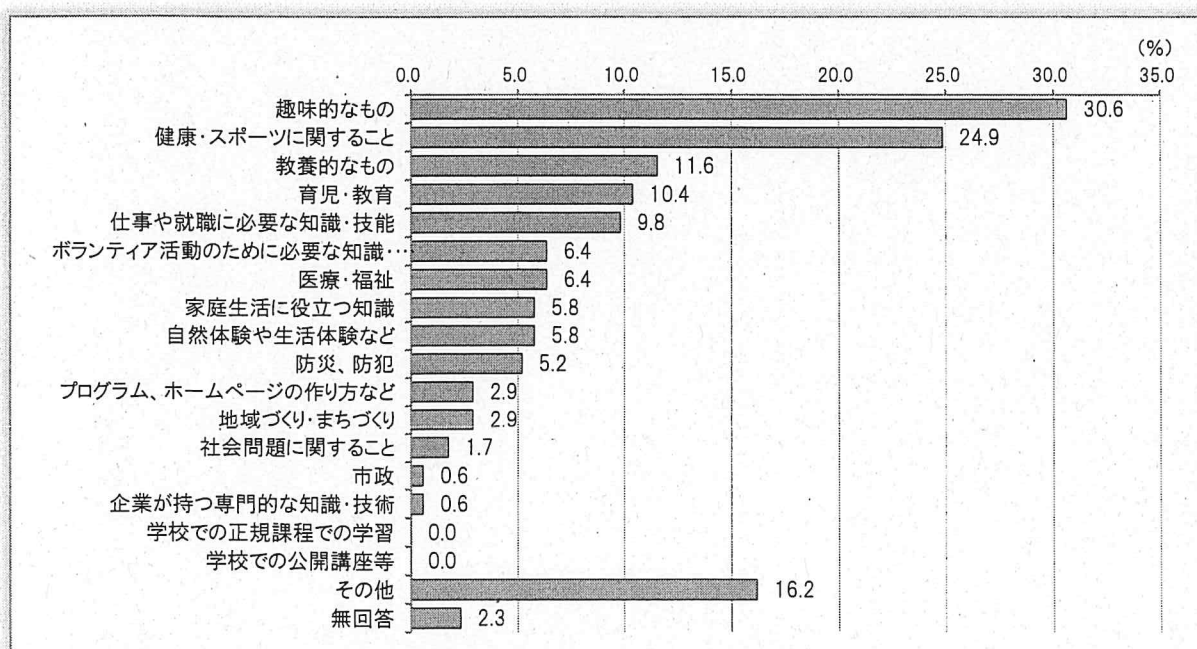
◆学習ニーズ

問5 今、何か学んでみたいことや、趣味・関心があることは何ですか(複数回答可)。

学習ニーズは、「趣味的なもの」(30.6%)が最も高く、次いで、「健康・スポーツに関すること」(24.9%)、「教養的なもの」(11.6%)、「育児・教育」(10.4%)、「仕事や就職に必要な知識・技能」(9.8%)となっています。
年代別では、50歳未満と60歳代は「趣味的なもの」(30歳代は「育児・教育」が同率)、50歳代は「健康・スポーツ」、70歳以上は「その他」が最も高くなっています。
なお、「その他」(16.2%)の記述で最も多いのは、「特になし」となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サンプル数	173人	55人	118人	19人	32人	36人	25人	38人	23人
1 趣味的なもの	30.6	18.2	36.4	31.6	28.1	30.6	24.0	47.4	13.0
2 教養的なもの	11.6	7.3	13.6	10.5	9.4	8.3	24.0	15.8	0.0
3 社会問題に関すること	1.7	3.6	0.8	0.0	0.0	2.8	0.0	2.6	4.3
4 健康・スポーツに関すること	24.9	25.5	24.6	21.1	21.9	19.4	36.0	21.1	34.8
5 家庭生活に役立つ知識	5.8	3.6	6.8	15.8	9.4	2.8	8.0	0.0	4.3
6 育児・教育	10.4	5.5	12.7	10.5	28.1	16.7	4.0	0.0	0.0
7 仕事や就職に必要な知識・技能	9.8	9.1	10.2	15.8	18.8	13.9	4.0	5.3	0.0
8 プログラム、ホームページの作り方など	2.9	5.5	1.7	0.0	6.3	0.0	8.0	2.6	0.0
9 ボランティア活動のために必要な知識・技能	6.4	7.3	5.9	0.0	9.4	2.8	0.0	15.8	4.3
10 自然体験や生活体験など	5.8	7.3	5.1	15.8	9.4	2.8	4.0	5.3	0.0
11 防災、防犯	5.2	7.3	4.2	15.8	6.3	0.0	4.0	7.9	0.0
12 医療・福祉	6.4	1.8	8.5	5.3	9.4	8.3	0.0	7.9	4.3
13 地域づくり・まちづくり	2.9	3.6	2.5	0.0	0.0	2.8	0.0	7.9	4.3
14 市政	0.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0
15 企業が持つ専門的な知識・技術	0.6	1.8	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
16 学校での正規課程での学習	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17 学校での公開講座等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18 その他	16.2	27.3	11.0	21.1	0.0	13.9	12.0	18.4	39.1
無回答	2.3	1.8	2.5	0.0	3.1	5.6	0.0	0.0	4.3



※「その他」の回答(全28件)のうち、最も多い記述は「特になし」(18件)・・・10.4%(N=173)

◆行政に対する要望

問6 学習活動を行うために、市に対して何か要望はありますか(複数回答可)。

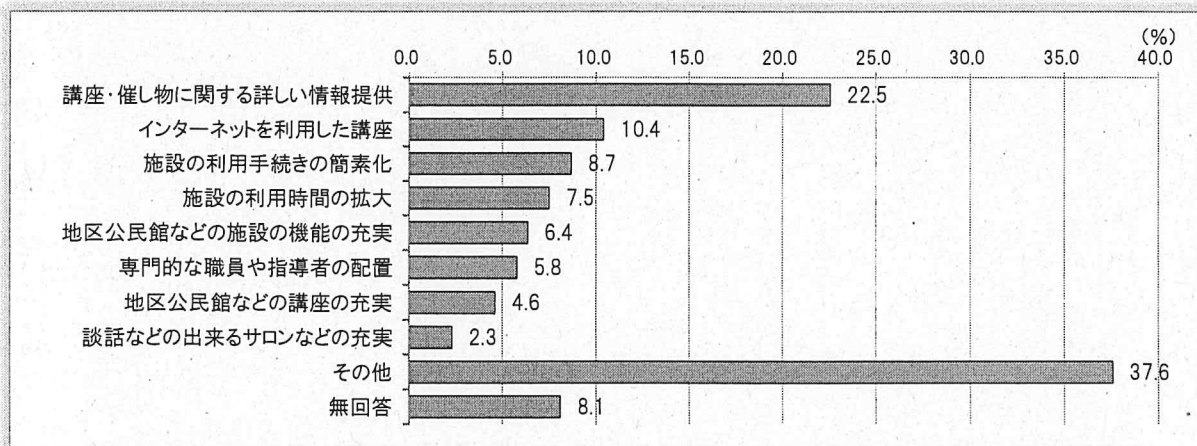
学習活動を行うために行政に求めることは、「講座・催し物に関する詳しい情報提供」(22.5%)が最も高く、次いで、「インターネットを利用した講座」(10.4%)、「施設の利用手続きの簡素化」(8.7%)、「施設の利用時間の拡大」(7.5%)、「地区公民館などの施設の機能の充実」(6.4%)となっています。

年代別では、30歳未満は「講座・催し物に関する詳しい情報提供」、30歳以上は「その他」が最も高くなっています。

なお、「その他」(37.6%)の記述で最も多いのは、「特になし」となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サンプル数	173人	55人	118人	19人	32人	36人	25人	38人	23人
1 専門的な職員や指導者の配置	5.8	3.6	6.8	0.0	6.3	5.6	12.0	7.9	0.0
2 施設の利用手続きの簡素化	8.7	3.6	11.0	0.0	12.5	19.4	12.0	0.0	4.3
3 施設の利用時間の拡大	7.5	7.3	7.6	10.5	9.4	8.3	16.0	2.6	0.0
4 談話などの出来るサロンなどの充実	2.3	1.8	2.5	0.0	3.1	0.0	0.0	2.6	8.7
5 講座・催し物に関する詳しい情報提供	22.5	18.2	24.6	47.4	18.8	16.7	16.0	26.3	17.4
6 地区公民館などの施設の機能の充実	6.4	10.9	4.2	0.0	9.4	8.3	8.0	2.6	8.7
7 地区公民館などの講座の充実	4.6	9.1	2.5	0.0	0.0	0.0	4.0	10.5	13.0
8 インターネットを利用した講座	10.4	12.7	9.3	26.3	18.8	8.3	8.0	5.3	0.0
9 その他	37.6	45.5	33.9	26.3	31.3	27.8	40.0	42.1	60.9
無回答	8.1	5.5	9.3	0.0	3.1	16.7	0.0	13.2	8.7



※「その他」の回答(65件)のうち、最も多い記述は「特になし」(34件)・・・19.7%(N=173)

(2) ボランティア活動・地域活動について

◆ ボランティア活動の参加状況

問7 この1年間で、ボランティア活動に参加しましたか。

ボランティア活動に参加した人は、「頻繁に参加している」(3.5%)と「たまに参加している」(11.0%)を合わせると、全体の1割以上(14.5%)となっています。

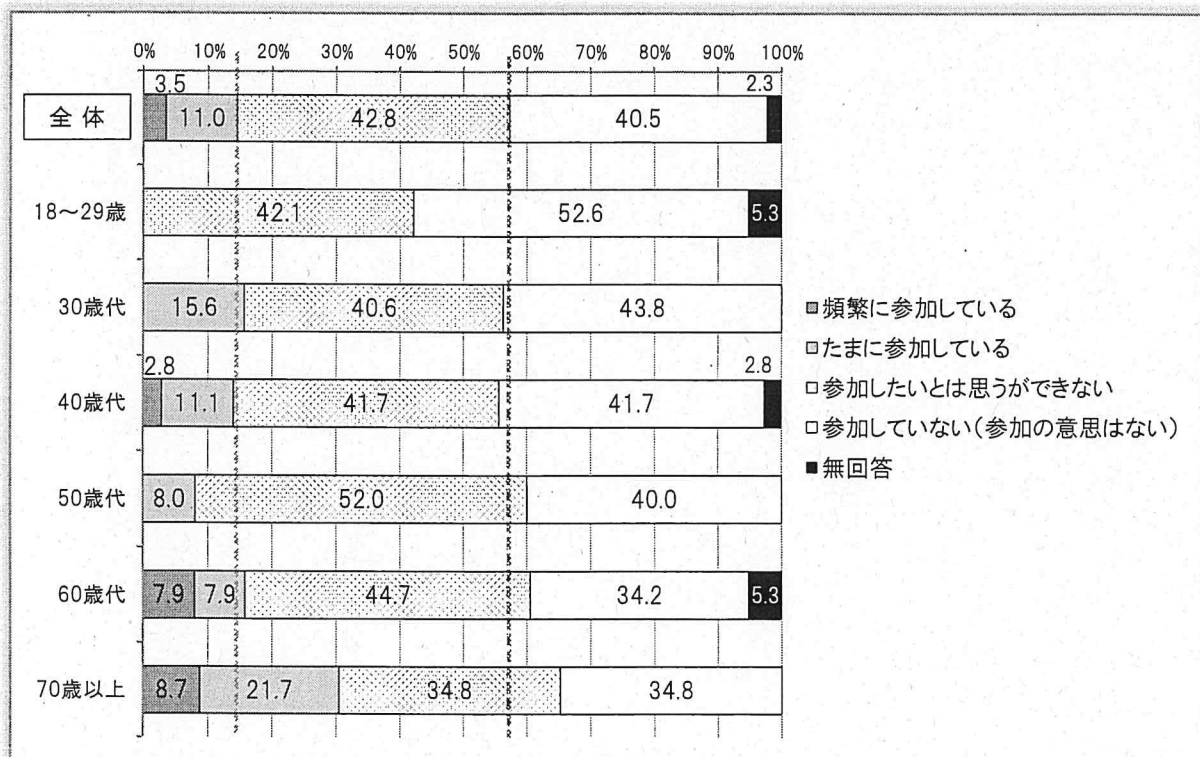
年代別に見ると、30歳未満は全く参加しておらず、また、50歳代は他の年代に比べてボランティア活動に参加した割合が低くなっています。

一方、どの年代においても「参加したいとは思えない」人の割合は4割以上となっています。

なお、「頻繁に参加している」「たまに参加している」「参加したいとは思えない」を合わせると、ボランティア活動に参加する意識がある人は、全体の6割近く(57.3%)によびます。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サンプル数	173人	55人	118人	19人	32人	36人	25人	38人	23人
1 頻繁に参加している	3.5	3.6	3.4	0.0	0.0	2.8	0.0	7.9	8.7
2 たまに参加している	11.0	14.5	9.3	0.0	15.6	11.1	8.0	7.9	21.7
3 参加したいとは思えない	42.8	40.0	44.1	42.1	40.6	41.7	52.0	44.7	34.8
4 参加していない(参加の意思はない)	40.5	40.0	40.7	52.6	43.8	41.7	40.0	34.2	34.8
無回答	2.3	1.8	2.5	5.3	0.0	2.8	0.0	5.3	0.0



◆ボランティア活動に参加していない理由

問8 ボランティア活動に参加していない理由は何ですか(複数回答可)。

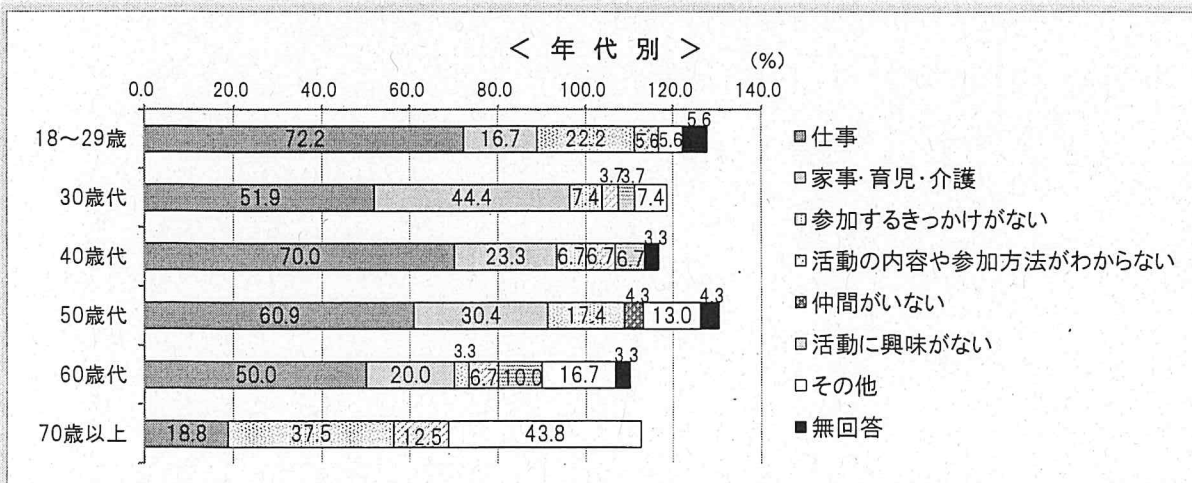
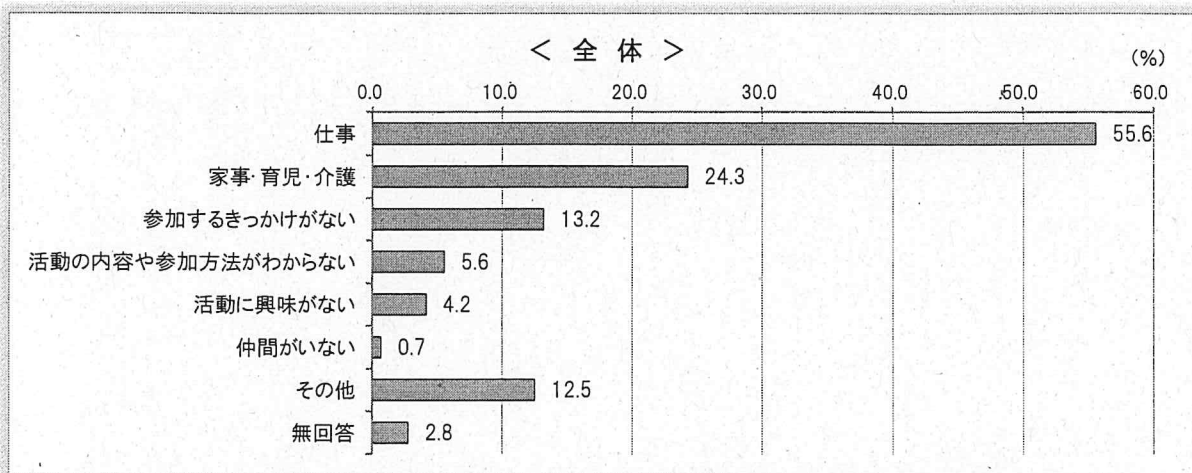
ボランティア活動に参加していない理由は、「仕事」(55.6%)が最も高く、次いで、「家事・育児・介護」(24.3%)、「参加するきっかけがない」(13.2%)、「活動の内容や参加方法がわからない」(5.6%)、「活動に興味がない」(4.2%)となっています。

年代別では、70歳未満は「仕事」、70歳以上は「その他」を除き、「参加するきっかけがない」が最も高くなっています。

なお、「その他」(12.5%)の記述で最も多いのは、「健康上の理由」となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サンプル数	144人	44人	100人	18人	27人	30人	23人	30人	16人
1 仕事	55.6	68.2	50.0	72.2	51.9	70.0	60.9	50.0	18.8
2 家事・育児・介護	24.3	2.3	34.0	16.7	44.4	23.3	30.4	20.0	0.0
3 参加するきっかけがない	13.2	15.9	12.0	22.2	7.4	6.7	17.4	3.3	37.5
4 活動の内容や参加方法がわからない	5.6	4.5	6.0	5.6	3.7	6.7	0.0	6.7	12.5
5 仲間がいない	0.7	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0
6 活動に興味がない	4.2	4.5	4.0	0.0	3.7	6.7	0.0	10.0	0.0
7 その他	12.5	13.6	12.0	5.6	7.4	0.0	13.0	16.7	43.8
無回答	2.8	2.3	3.0	5.6	0.0	3.3	4.3	3.3	0.0



※「その他」の回答(全18件)のうち、最も多い記述は「健康上の理由」(9件)・・・6.3%(N=144)

◆ボランティア活動の内容

問9 あなたが参加したいボランティア活動(やってみたいボランティア活動)はありますか(複数回答可)。

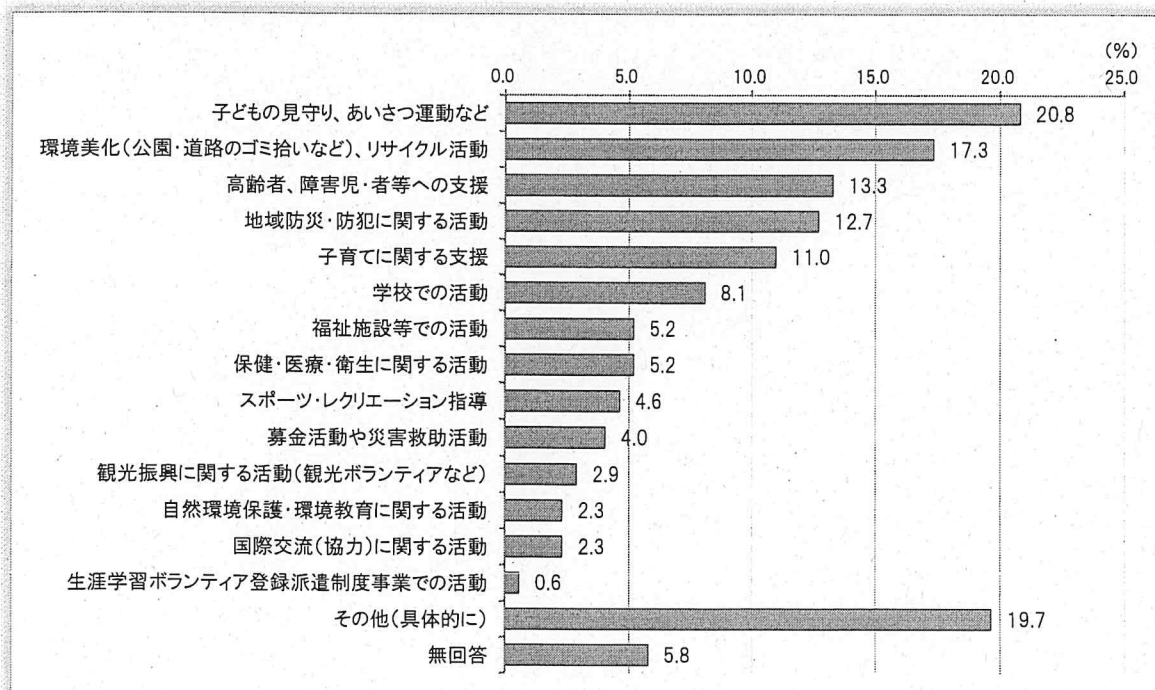
関心があるボランティア活動は、「子どもの見守り、あいさつ運動など」(20.8%)が最も高く、次いで、「環境美化、リサイクル活動」(17.3%)、「高齢者、障害児・者等への支援」(13.3%)、「地域防災・防犯に関する活動」(12.7%)、「子育てに関する支援」(11.0%)となっています。

年代別では、30歳未満は「地域防災・防犯に関する活動」、30～40歳代は「子どもの見守り、あいさつ運動など」(40歳代は「高齢者、障害児・者等への支援」が同率)、50～60歳代は「環境美化、リサイクル活動」、70歳以上は「その他」を除き、「子どもの見守り、あいさつ運動など」となっています。

なお、「その他」(19.7%)の記述で最も多いのは、「特になし」となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サ ン プ ル 数	173人	55人	118人	19人	32人	36人	25人	38人	23人
1 福祉施設等での活動	5.2	1.8	6.8	0.0	3.1	8.3	8.0	7.9	0.0
2 高齢者、障害児・者等への支援	13.3	7.3	16.1	10.5	12.5	16.7	16.0	13.2	8.7
3 子どもの見守り、あいさつ運動など	20.8	16.4	22.9	15.8	21.9	16.7	20.0	23.7	26.1
4 学校での活動	8.1	10.9	6.8	0.0	12.5	11.1	8.0	2.6	13.0
5 子育てに関する支援	11.0	3.6	14.4	15.8	18.8	11.1	12.0	7.9	0.0
6 スポーツ・レクリエーション指導	4.6	12.7	0.8	0.0	9.4	5.6	0.0	5.3	4.3
7 自然環境保護・環境教育に関する活動	2.3	5.5	0.8	0.0	3.1	2.8	0.0	2.6	4.3
8 環境美化(公園・道路のゴミ拾いなど)、リサイクル活動	17.3	20.0	16.1	0.0	18.8	8.3	28.0	26.3	17.4
9 募金活動や災害救助活動	4.0	7.3	2.5	5.3	3.1	8.3	8.0	0.0	0.0
10 国際交流(協力)に関する活動	2.3	1.8	2.5	0.0	0.0	8.3	4.0	0.0	0.0
11 保健・医療・衛生に関する活動	5.2	1.8	6.8	5.3	3.1	5.6	8.0	5.3	4.3
12 地域防災・防犯に関する活動	12.7	23.6	7.6	21.1	12.5	13.9	12.0	10.5	8.7
13 観光振興に関する活動(観光ボランティアなど)	2.9	0.0	4.2	10.5	3.1	2.8	4.0	0.0	0.0
14 生涯学習ボランティア登録派遣制度事業での活動	0.6	1.8	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
15 その他(具体的に)	19.7	25.5	16.9	21.1	15.6	11.1	8.0	18.4	52.2
無回答	5.8	5.5	5.9	10.5	6.3	8.3	0.0	7.9	0.0



※「その他」の回答(全34件)のうち、最も多い記述は「特になし」(24件)・・・13.9%(N=173)

◆地域活動の参加状況

問10 地域活動についておたずねします。あなたは、この1年間で、地域活動に参加したことはありますか。

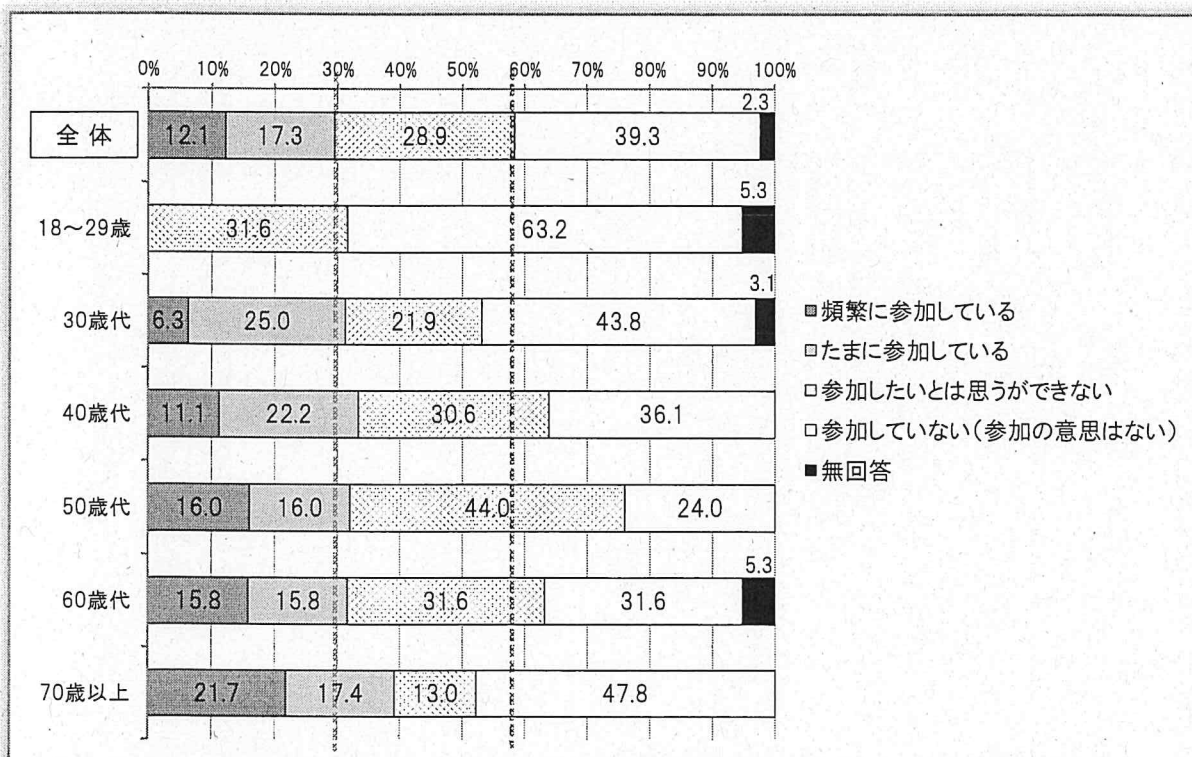
地域活動に参加した人は、「頻繁に参加している」(12.1%)と「たまに参加している」(17.3%)を合わせると、全体の約3割(29.4%)となっています。

年代別に見ると、30歳未満は“ボランティア活動”と同様に全く参加しておらず、50歳代は、他の年代に比べて「参加したいとは思えない」の割合が高くなっています。「頻繁に参加している」と回答した人の割合は、年代が上がるにつれて高い傾向にあり、また、参加した人の割合(「頻繁に参加している」と「たまに参加している」を合わせた数)は、70歳以上が他の年代に比べて高くなっています。

なお、“ボランティア活動”と同様に、「頻繁に参加している」「たまに参加している」「参加したいとは思えない」を合わせると、活動に参加する意識がある人は、全体の6割近く(58.3%)におよびます。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サンプル数	173人	55人	118人	19人	32人	36人	25人	38人	23人
1 頻繁に参加している	12.1	7.3	14.4	0.0	6.3	11.1	16.0	15.8	21.7
2 たまに参加している	17.3	14.5	18.6	0.0	25.0	22.2	16.0	15.8	17.4
3 参加したいとは思えない	28.9	29.1	28.8	31.6	21.9	30.6	44.0	31.6	13.0
4 参加していない(参加の意思はない)	39.3	47.3	35.6	63.2	43.8	36.1	24.0	31.6	47.8
無回答	2.3	1.8	2.5	5.3	3.1	0.0	0.0	5.3	0.0



◆地域活動に参加していない理由

問11 地域活動に参加しない理由(できない理由)は何ですか(複数回答可)。

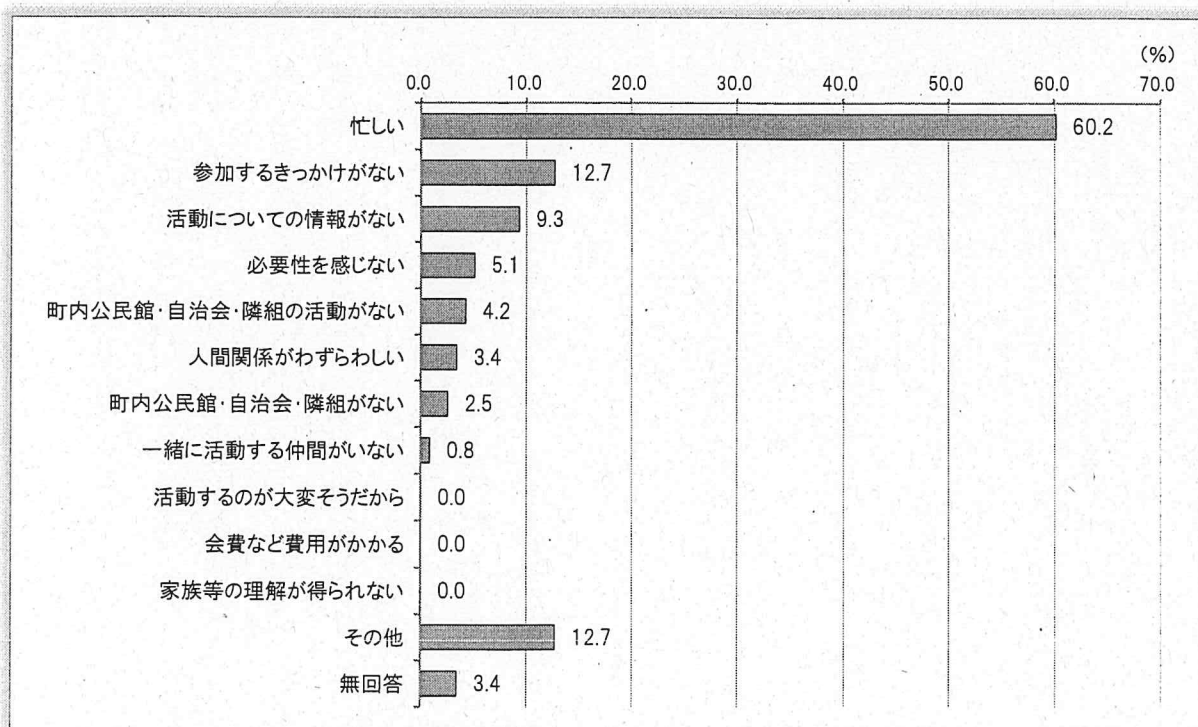
地域活動に参加しない理由(できない理由)は、「忙しい」(60.2%)が最も高く、次いで、「参加するきっかけがない」(12.7%)、「活動についての情報がない」(9.3%)、「必要性を感じない」(5.1%)、「町内公民館・自治会・隣組の活動がない」(4.2%)、「人間関係がわずらわしい」(3.4%)となっています。

年代別に見ても、全ての年代で「忙しい」が最も高くなっています。

なお、「その他」(12.7%)の記述で最も多いのは、「健康上の理由」となっています。

(単位: %)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サ ン プ ル 数	118人	42人	76人	18人	21人	24人	17人	24人	14人
1 忙しい	60.2	69.0	55.3	66.7	61.9	70.8	58.8	58.3	35.7
2 活動についての情報がない	9.3	4.8	11.8	16.7	9.5	16.7	11.8	0.0	0.0
3 参加するきっかけがない	12.7	14.3	11.8	11.1	23.8	12.5	5.9	8.3	14.3
4 一緒に活動する仲間がいない	0.8	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0
5 人間関係がわずらわしい	3.4	2.4	3.9	5.6	0.0	0.0	11.8	4.2	0.0
6 活動するのが大変そうだから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 会費など費用がかかる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8 町内公民館・自治会・隣組がない	2.5	2.4	2.6	0.0	0.0	8.3	5.9	0.0	0.0
9 町内公民館・自治会・隣組の活動がない	4.2	2.4	5.3	0.0	0.0	4.2	5.9	12.5	0.0
10 家族等の理解が得られない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11 その他	12.7	11.9	13.2	11.1	14.3	4.2	11.8	12.5	28.6
12 必要性を感じない	5.1	9.5	2.6	5.6	0.0	0.0	5.9	8.3	14.3
無回答	3.4	2.4	3.9	5.6	0.0	0.0	0.0	8.3	7.1



※「その他」の回答(全15件)のうち、最も多い記述は「健康上の理由」(6件)・・・5.1%(N=118)

◆地域活動の内容

問12 お住まいの地域で参加した活動(してみたいと思う活動)はありますか(複数回答可)。

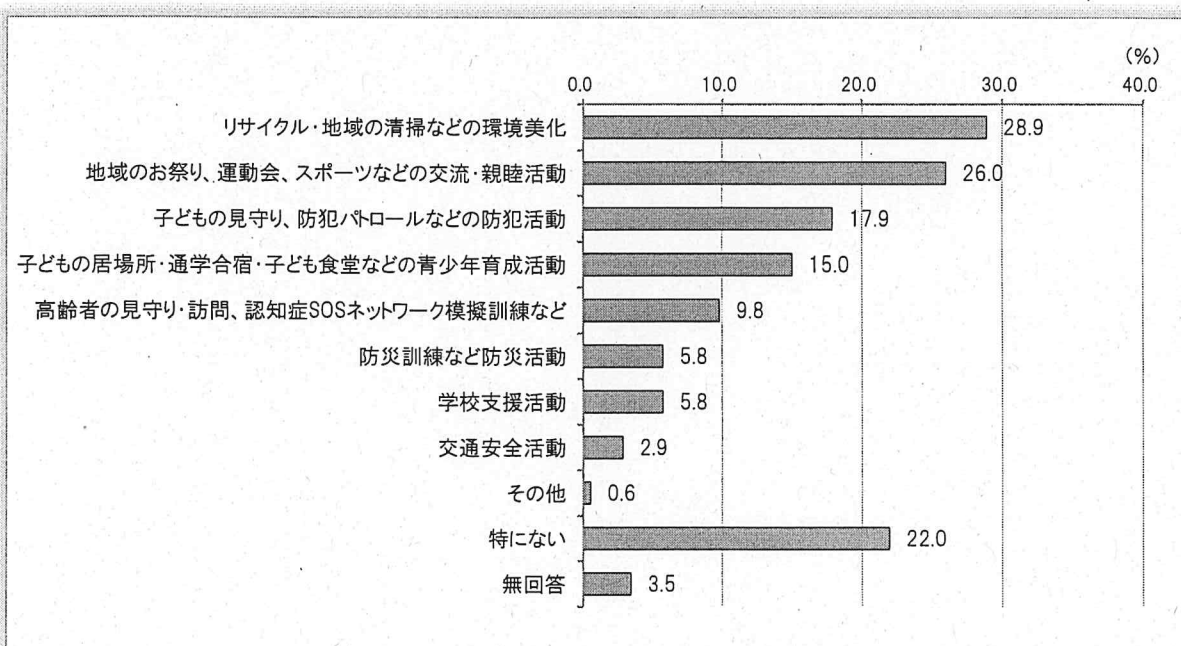
関心がある地域活動は、「リサイクル・地域の清掃などの環境美化」(28.9%)が最も高く、次いで、「地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動」(26.0%)、「子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動」(17.9%)、「子どもの居場所・通学合宿・子ども食堂などの青少年育成活動」(15.0%)、「高齢者の見守り・訪問、認知症SOSネットワーク模擬訓練など」(9.8%)となっています。

年代別では、30歳未満は「地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動」、30～60歳代は「リサイクル・地域の清掃などの環境美化」が最も高くなっています。

なお、「特にない」(22.0%)という回答の割合は、性別では男性が、年代別では70歳以上が高くなっています。

(単位: %)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サ ン プ ル 数	173人	55人	118人	19人	32人	36人	25人	38人	23人
1 リサイクル・地域の清掃などの環境美化	28.9	20.0	33.1	5.3	40.6	30.6	36.0	34.2	13.0
2 高齢者の見守り・訪問、認知症SOSネットワーク模擬訓練など	9.8	5.5	11.9	5.3	9.4	13.9	4.0	13.2	8.7
3 子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動	17.9	21.8	16.1	5.3	21.9	19.4	16.0	21.1	17.4
4 防災訓練など防災活動	5.8	5.5	5.9	5.3	0.0	5.6	8.0	10.5	4.3
5 交通安全活動	2.9	5.5	1.7	0.0	3.1	5.6	0.0	2.6	4.3
6 子どもの居場所・通学合宿・子ども食堂などの青少年育成活動	15.0	7.3	18.6	15.8	18.8	13.9	20.0	13.2	8.7
7 学校支援活動	5.8	5.5	5.9	5.3	3.1	5.6	8.0	5.3	8.7
8 地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動	26.0	32.7	22.9	36.8	31.3	27.8	20.0	28.9	8.7
9 その他	0.6	0.0	0.8	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
10 特にない	22.0	29.1	18.6	15.8	12.5	11.1	16.0	26.3	56.5
無回答	3.5	3.6	3.4	15.8	0.0	2.8	0.0	5.3	0.0



※「その他」の回答数は1件のみ

◆小学校を支援する取組みへの参加意向

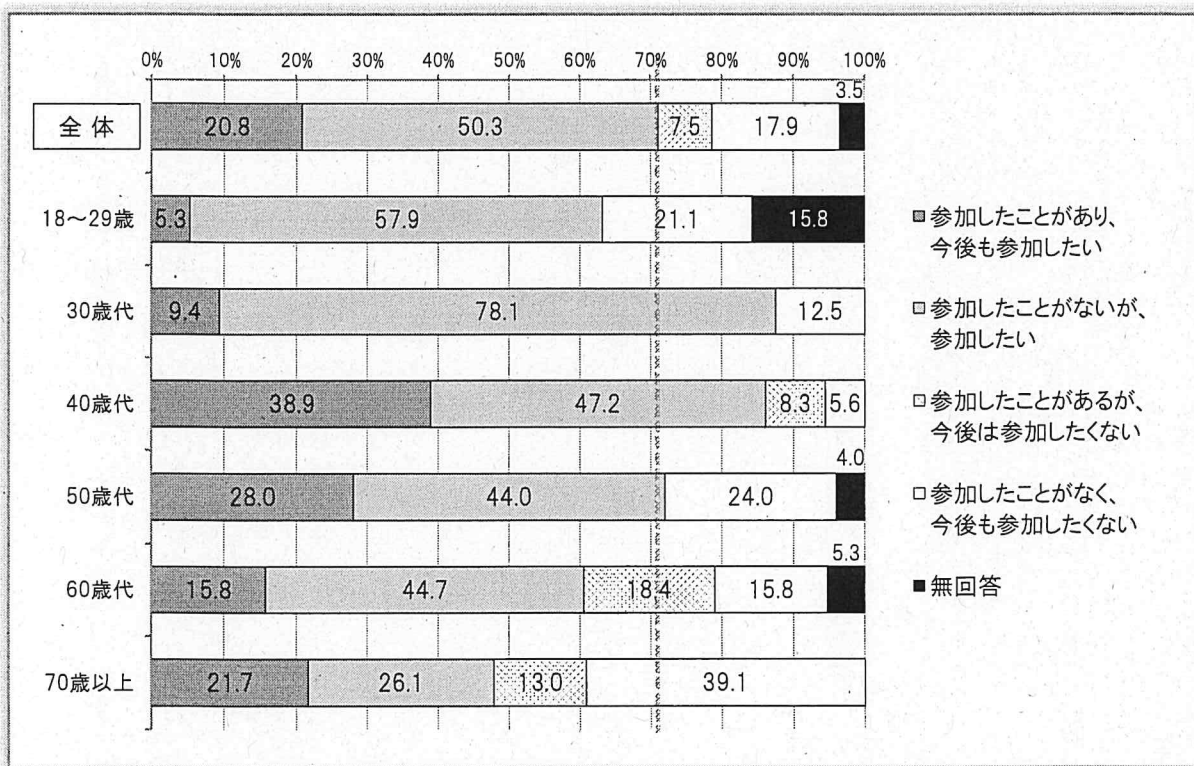
問13 何かしら学校を支援するための取組みが行われた場合、参加したいと思いますか。

小学校を支援する活動への参加意識は、「参加したことがあり、今後も参加したい」(20.8%)と「参加したことがないが、参加したい」(50.3%)を合わせると、全体の7割以上(71.1%)となっています。

また、年齢が低い年代は、問10で地域活動に「参加していない(参加の意思はない)」と回答した割合が比較的高かったものの、当該参加意識は、年齢が高い年代を上回っています。特に、保護者世代となる30～40歳代の参加意識は9割近くに達し、他の年代に比べて高くなっています。

(単位: %)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サンプル数	173人	55人	118人	19人	32人	36人	25人	38人	23人
1 参加したことがあり、今後も参加したい	20.8	16.4	22.9	5.3	9.4	38.9	28.0	15.8	21.7
2 参加したことがないが、参加したい	50.3	49.1	50.8	57.9	78.1	47.2	44.0	44.7	26.1
3 参加したことがあるが、今後は参加したくない	7.5	10.9	5.9	0.0	0.0	8.3	0.0	18.4	13.0
4 参加したことがなく、今後も参加したくない	17.9	18.2	17.8	21.1	12.5	5.6	24.0	15.8	39.1
無回答	3.5	5.5	2.5	15.8	0.0	0.0	4.0	5.3	0.0



<参考>

(単位: %)

「問10」(地域活動の参加状況)の設問で、 「参加していない(参加の意思はない)」と回答した人の割合(再掲)	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	63.2	43.8	36.1	24.0	31.6	47.8

(3)地区公民館について

◆地区公民館の認知度と利用状況

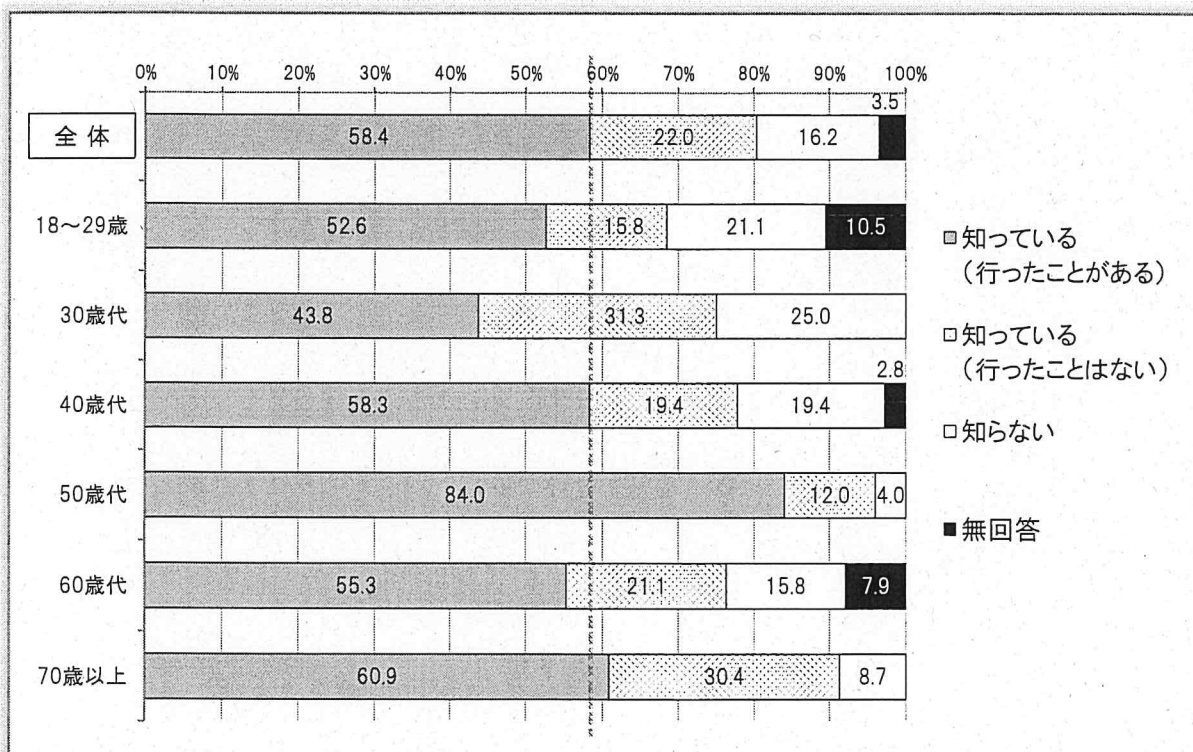
問14 大牟田市に地区公民館(公設公営)があることを知っていますか。また、利用したことはありますか。

地区公民館の認知度は、「知っている(行ったことがある)」(58.4%)と「知っている(行ったことはない)」(22.0%)を合わせると、全体の約8割(80.4%)に達し、地区公民館へ行ったことがあると回答した人は過半数となっています。

年代別に見ると、認知度、利用状況ともに50歳代の割合が最も高く、30歳代が最も低くなっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ~ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サンプル数	173人	55人	118人	19人	32人	36人	25人	38人	23人
1 知っている(行ったことがある)	58.4	54.5	60.2	52.6	43.8	58.3	84.0	55.3	60.9
2 知っている(行ったことはない)	22.0	20.0	22.9	15.8	31.3	19.4	12.0	21.1	30.4
3 知らない	16.2	21.8	13.6	21.1	25.0	19.4	4.0	15.8	8.7
無回答	3.5	3.6	3.4	10.5	0.0	2.8	0.0	7.9	0.0



◆地区公民館を利用した理由

《問14で「1」を選んだ人におたずねします》

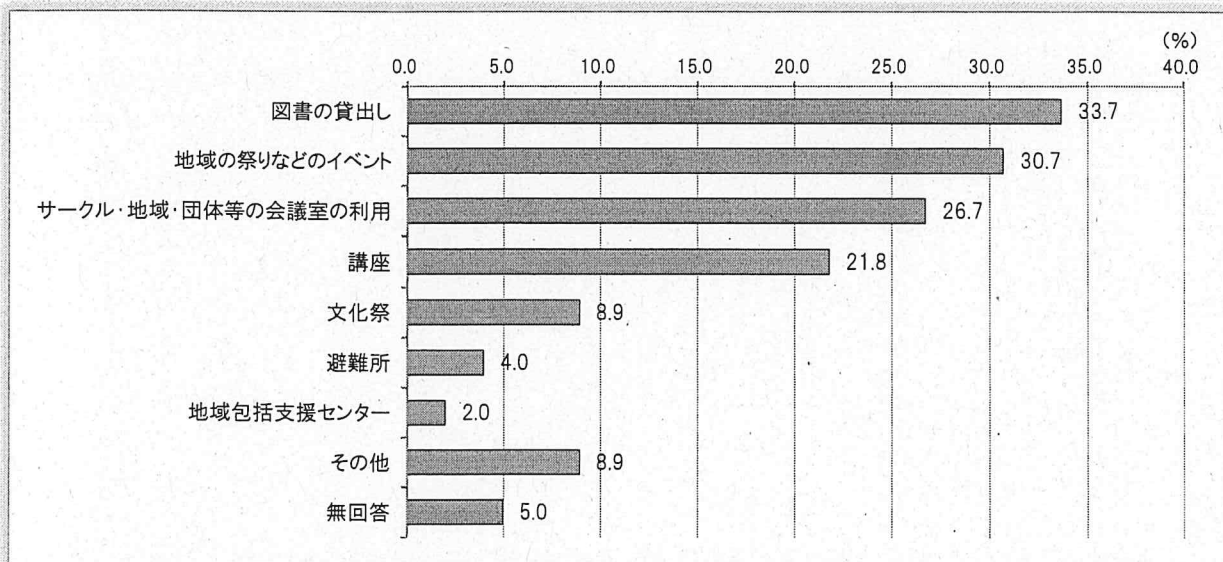
問15 地区公民館は、どのような理由で利用しましたか(複数回答可)。

地区公民館を利用した理由は、「図書の貸出し」(33.7%)が最も高く、次いで、「地域の祭りなどのイベント」(30.7%)、「サークル・地域・団体等の会議室の利用」(26.7%)、「講座」(21.8%)、「文化祭」(8.9%)となっています。

年代別では、30歳未満は「地域の祭りなどのイベント」、30歳代は「図書の貸出し」と「地域の祭りなどのイベント」、40歳代は「図書の貸出し」、50歳代は「講座」、60歳代以上は「サークル・地域・団体等の会議室の利用」が最も高くなっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サ ン プ ル 数	101人	30人	71人	10人	14人	21人	21人	21人	14人
1 講座	21.8	10.0	26.8	20.0	28.6	9.5	33.3	28.6	7.1
2 サークル・地域・団体等の会議室の利用	26.7	23.3	28.2	0.0	0.0	38.1	28.6	38.1	35.7
3 図書の貸出し	33.7	16.7	40.8	40.0	50.0	42.9	28.6	23.8	21.4
4 文化祭	8.9	10.0	8.5	10.0	7.1	4.8	9.5	9.5	14.3
5 地域の祭りなどのイベント	30.7	40.0	26.8	60.0	50.0	23.8	14.3	28.6	28.6
6 避難所	4.0	3.3	4.2	0.0	7.1	4.8	4.8	0.0	7.1
7 地域包括支援センター	2.0	3.3	1.4	0.0	7.1	0.0	0.0	4.8	0.0
8 その他	8.9	6.7	9.9	10.0	7.1	9.5	19.0	0.0	7.1
無回答	5.0	6.7	4.2	20.0	0.0	4.8	0.0	9.5	0.0



※「その他」の回答(全9件)のうち、最も多い記述は「選挙」と「仕事」(2件)・・・2.0%(N=101)

◆地区公民館を利用しない理由

《問14で「2」を選んだ人におたずねします》

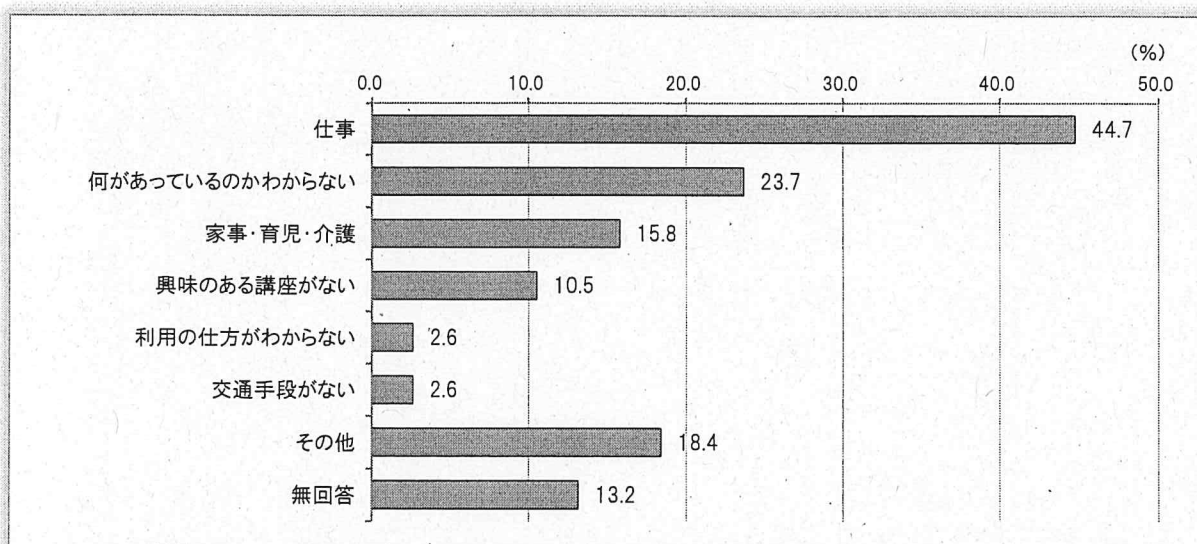
問16 地区公民館を利用しなかった理由を教えてください(複数回答可)。

地区公民館を利用しなかった理由は、「仕事」(44.7%)が最も高く、次いで、「何があっているのかわからない」(23.7%)、「家事・育児・介護」(15.8%)、「興味のある講座がない」(10.5%)となっています。

年代別で見ると、どの年代においても「仕事」の割合が高く、また、「何があっているのかわからない」と回答した割合は、30～40歳代と70歳以上において最も高くなっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
サンプル数	38人	11人	27人	3人	10人	7人	3人	8人	7人
1 仕事	44.7	54.5	40.7	100.0	30.0	28.6	100.0	37.5	42.9
2 家事・育児・介護	15.8	9.1	18.5	0.0	20.0	28.6	33.3	12.5	0.0
3 利用の仕方がわからない	2.6	0.0	3.7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
4 何があっているのかわからない	23.7	27.3	22.2	0.0	40.0	28.6	0.0	12.5	28.6
5 興味のある講座がない	10.5	9.1	11.1	0.0	10.0	14.3	0.0	25.0	0.0
6 交通手段がない	2.6	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
7 その他	18.4	9.1	22.2	0.0	20.0	14.3	33.3	12.5	28.6
無回答	13.2	18.2	11.1	66.7	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0



※「その他」の回答(全7件)のうち、最も多い記述は「用事がない」(3件)・・・7.9%(N=38)

(4) 自由記述

問 17 今回、おたずねした生涯学習や地域づくりについて、ご意見やご要望などがございましたら、お教えください。

●学習情報の提供に関すること	
20代・女性	情報発信をもっとして欲しい
30代・男性	情報提供をもっとして欲しい。チラシ・ポスターなどをコンビニに掲示してもらえると良い。
30代・男性	どこでどのような活動をしているかをわかりやすくして欲しい(子どもが見てもわかるように)。
50代・男性	情報発信が足りないのではないか。公民館などで何が行われているのかよくわからない。広報おおむたは元より、他の情報発信ツールにも活動内容や公民館の情報をもっとのせて欲しい。
60代・女性	近くでいろんな事業や情報があつたほうが良い
60代・女性	情報発信をして欲しい(新聞広告なら見る)
70代・女性	引っ越してきたばかりで、市の情報が少ない。インターネットも使わないので、情報を得るツールがまだよくわからない。

●講座等に関すること	
20代・女性	パソコンやスマートフォンの使用方法の講座があつたら良い。
40代・女性	子育ての講座をして欲しい。特に今は心理学を学びたい。
40代・女性	比較的高齢者向けのイベント・講座が多い。子どもが幼稚園児なので14時には帰ってくる。11時～13時の間で1時間程度の講座があれば参加しやすい。また、保育をしっかり設けてもらえると、もっと参加しやすい。
50代・女性	気軽に利用できるようにして欲しい(講座の時間が合わないし、すぐ定員がいっぱいになる)。
50代・女性	仕事をしている人でも行きやすい催し、多くの人に参加できるような講座や催しをして欲しい。
50代・女性	土日や夜の講座をして欲しい。
60代・男性	休みが不定休の為、気になる催事があっても参加できていない。SOSのボランティア参加はしている(福祉系の仕事の為)。いろいろやってみたいが、仕事をしているとできないのが現状。
60代・女性	講座の先生を良い先生に。

●インターネット環境に関すること	
10代・女性	何かを学んだりする時に本が一番良いけれど、ネットも利用したいから wi-fi が使えるところが増えるとうれしい。
30代・男性	wi-fi 環境をいろいろなところで整備して欲しい。
30代・女性	公共施設に wi-fi 環境があると良い。
30代・女性	公民館に wi-fi 飛ばして欲しい。
50代・女性	市内にフリーwi-fi を設置してもらいたい。

●学校に関すること	
30代・男性	多動性障害について、学校の先生が知らなさ過ぎる。もっと勉強してもらいたい。
40代・女性	子どもの教育を考え中高一貫校になることを見越して大正校区に越してきたので、今後についてどうなるかを知りたい。
60代・女性	大牟田市内の小学校の運動会の日程を一緒にしないで欲しい。孫が市内の5つの学校に通っていて、全部同日。見に行けない。何よりもそのことを強く望む。教育委員会に電話しようと思うくらい困っている。土曜日でも良いし、とにもかくにも検討してください。

●学習に関すること	
30代・男性	そもそも生涯学習とは何かを教えて欲しい。
70代・女性	学習活動は若いときからするべき

●行政に対する要望・意見に関すること	
30代・女性	那珂川町から引っ越してきたが、大牟田はドライブスルーのお店などが少ない。子どもが小さいので、ドライブスルーはよく使っていた。子育て世代にあまり優しくないと思う。公園が少ないし、歩道もあまり整備されていないと感じる。
30代・女性	母子家庭にはいろいろ厳しいので、もっと助けが欲しい。
50代・男性	人口増につながる事業をして欲しい。
50代・女性	世界遺産の経済効果を明確にしていきたい。
50代・女性	地域コミュニティの活性化、近所づきあい・つながりを強くできる仕組みづくりをお願いしたい。
60代・男性	地域の活性化、町が元気になるようにして欲しい。
60代・女性	参加へのきっかけづくりの充実。
60代・女性	高齢者免許証返納にあたり、交通手段がないのが問題。
60代・女性	ハザードマップが欲しい。
70代・女性	若い人の働く場所がない。
70代・女性	大牟田の広報はわかりやすい。

●施設等に関すること	
30代・男性	違った趣味を持つ人達が、気軽に集まれる場所があれば良いと思う。
50代・男性	ますます高齢化が進む中、老人ホームなどをたくさん作って欲しい。
50代・女性	選挙の際、勝立地区公民館を投票所にして欲しい。
60代・男性	仕事で外国人を相手にしているので、外国人向けの宿泊施設などを増やして欲しい。外国人は大変困っている。
60代・女性	身近に施設があれば良い。
60代・女性	地区公民館の借りれる本が少ない。
70代・女性	来年、地域にサロンを作ろうと思っている。高齢者の施設を充実させて欲しい。

●その他	
40代・男性	夏休みのラジオ体操が少ない。
60代・女性	夕方等に見守り隊の方達がたくさんいて、とても地域が明るくなったように感じる。とても良いことだと思います。
60代・女性	すでに充実していると思う。
70代・女性	近隣の方が気にしてくださる方がいない。不安がある。どこに行けばよいかわからない。

※原則、記載された原文のまま掲載しています。

3. インタビュー調査「生涯学習促進に係る意識調査」から見てくるもの

(1) 学習活動、ボランティア活動、地域活動は、忙しくてできないが参加意欲は高い

学習活動をししない理由（できない理由）、ボランティア活動、地域活動に参加していない理由（できない理由）としては、いずれも、「仕事、家事、介護などで忙しい」が最も高くなっています。

一方で、学習意欲は、全体の7割以上の人を持っており、ボランティア活動、地域活動についても、参加する意識がある人がともに全体の約6割いることがわかりました。

(2) 学習活動や地区公民館に関する情報提供の手法についての見直しや工夫が必要

学習活動を行うために行政に求めることは、「講座・催し物に関する詳しい情報提供」(22.5%)が最も高くなっています。特に30歳未満は、同項目が47.4%と最も高くなっています。

また、地区公民館を知っていても利用しなかった理由は、「仕事」(44.7%)が最も高く、次いで「何があるのかわからない」(23.7%)となっています。

さらに、自由記述においても、情報発信や情報提供に関する意見が7件寄せられています。

以上のことから、学習活動や地区公民館に関する情報提供の手法の見直しや工夫が必要と考えられます。

(3) ボランティア活動、地域活動に参加できるための（するための）きっかけづくりが必要

ボランティア活動に参加していない理由は、「参加するきっかけがない」(13.2%)が3番目に高く、地域活動に参加しない理由は、同項目(12.7%)が2番目に高くなっています。

行政は、ボランティア活動、地域活動への参加のきっかけづくりを行うことが必要であり、ボランティア団体や地域団体が気軽に参加できる事業の実施や声かけを行うことなどが望まれます。

(4) 学校や子どもを絡めたボランティア活動、地域活動の展開が必要

『小学校を支援する活動』については、全体の7割以上の人に参加する意思があることがわかりました。

また、参加したいボランティア活動は、「子どもの見守り、あいさつ運動など」(20.8%)が最も高くなっています。さらに、参加した地域活動(してみたい地域活動)は、「子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動」(17.9%)が3番目に高く、『子どもの居場所・通学合宿・子ども食堂などの青少年育成活動』(15.0%)が4番目に高くなっています。

以上のことから、学習活動を行っていない市民のボランティア活動、地域活動を促進するためには、学校を絡めた取り組みや子どもの成長に関する取り組みを展開することが望まれます。

(5) 市民の学習活動を促進するためには地区公民館において積極的な情報発信や働きかけが必要

全体の約8割の人が地区公民館を知っており、そのうち約6割の人が利用したことがあることがわかりました。

地区公民館を利用した理由は、「図書の貸出し」(33.7%)が最も高く、次いで「地域の祭りなどのイベント」(30.7%)となっています。

こうしたことを踏まえ、“学習活動をしていない人（できない人）”の学習活動及び地域活動などを促進するためには、地区公民館が、市民に最も身近な公共施設（社会教育施設）及び地域活動の拠点施設として、主催事業（講座、催し物など）をはじめ、サークル、ボランティア、地域に関する積極的な情報発信を行うことはもとより、利用者や地域住民とのコミュニケーションなどを通じて、学習活動のきっかけづくりを行うことも必要と考えられます。

Ⅲ インタビュー調査（若者意識調査）

1. 調査の概要

- 調査の目的 今後の社会教育・生涯学習行政における施策及び事業の在り方を探るうえでの基礎資料として、青少年健全育成プランの策定時に把握ができなかった若者の学習ニーズ、ライフスタイル等を把握するためのインタビュー調査を実施する。
- 調査対象 市内在住の16歳～34歳の男女（調査日現在）
- 調査方法 生涯学習課（えるる）の主査級以下の職員で組織した調査団により、「えるる」の個人学習室利用受付時に調査票を配布してインタビュー調査を行う。
- 調査期間 平成30年8月16日～9月15日（土・日曜及び祝日を含む）
（調査基準日は調査日）
- 調査場所 大牟田市市民活動等多目的交流施設「えるる」
- サンプル数 113件

< 調査項目 >

- ◇回答者属性（性別、年齢、職業等）……………3問
- （1）生涯学習について……………9問
- 生涯学習のイメージ
 - 生涯学習の必要性、生涯学習が必要と思う理由
 - 生涯学習の情報源
 - 生涯学習の実施状況・学習ニーズ
 - 生涯学習の場所・形態
 - 生涯学習を行う曜日・時間帯
 - 生涯学習をしない理由（できない理由）
 - 行政に対する要望
- （2）ボランティア活動・地域活動について……………3問
- ボランティア活動の参加状況
 - 地域活動について（認知・参加状況）
 - ボランティア活動・地域活動への関心度
- （3）自由記述（生涯学習やボランティア・地域活動に関する意見）…1問

（計16問）

若者意識調査

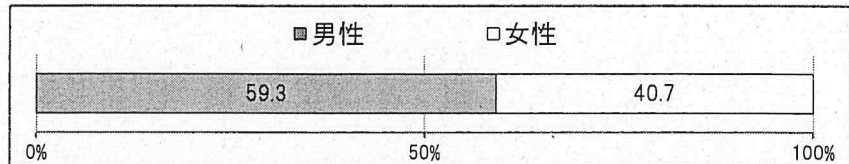
2. 調査結果

回答者属性

◆性別

問1 あなたの性別について、あてはまる番号に○印をつけてください。

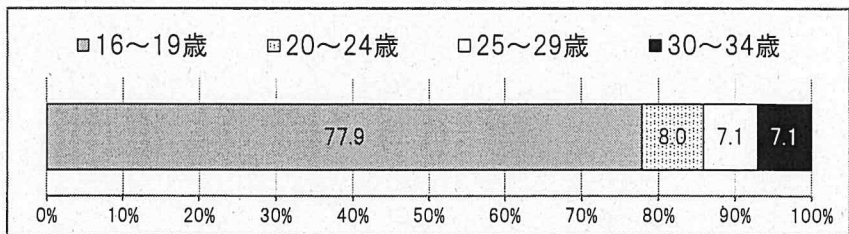
	H30年	
1 男性	67	59.3%
2 女性	46	40.7%
無回答	0	0.0%
合計	113	100.0%



◆年齢

問2 あなたの年齢(平成30年8月1日現在)について、あてはまる番号に○印をつけてください。

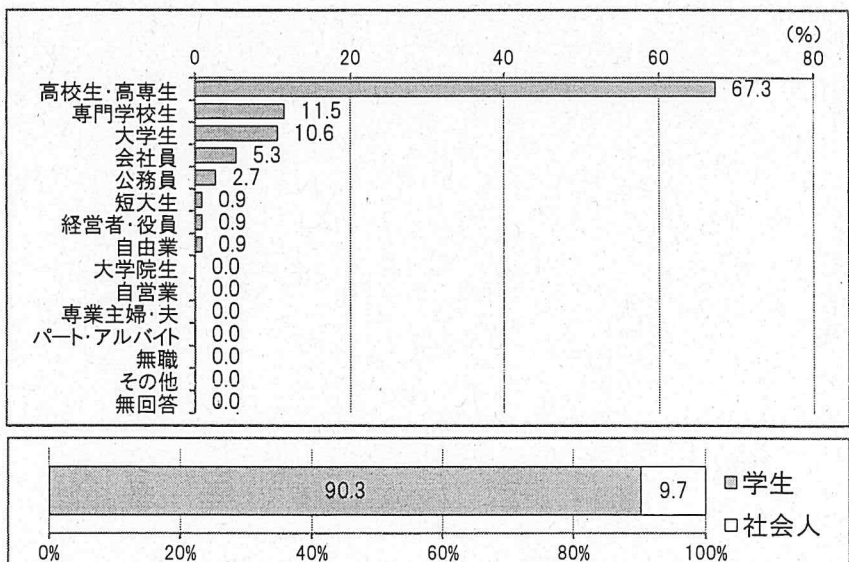
	H30年	
1 16～19歳	88	77.9%
2 20～24歳	9	8.0%
3 25～29歳	8	7.1%
4 30～34歳	8	7.1%
無回答	0	0.0%
合計	113	100.0%



◆職業等

問3 あなたの職業等について、あてはまる番号に○印をつけてください。

	H30年	
1 高校生・高専生	76	67.3%
2 短大生	1	0.9%
3 大学生	12	10.6%
4 専門学校生	13	11.5%
5 大学院生	0	0.0%
6 公務員	3	2.7%
7 経営者・役員	1	0.9%
8 会社員	6	5.3%
9 自営業	0	0.0%
10 自由業	1	0.9%
11 専業主婦(夫)	0	0.0%
12 パート・アルバイト	0	0.0%
13 無職	0	0.0%
14 その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	113	100.0%



(1)生涯学習について

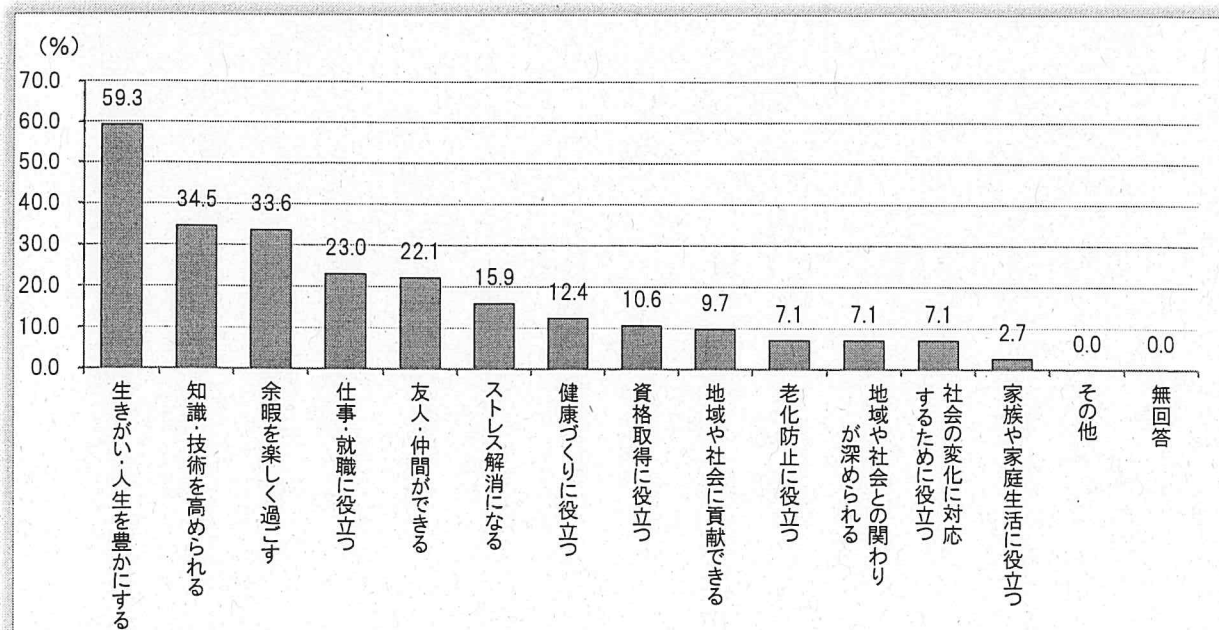
◆生涯学習のイメージ

問4 あなたは、「生涯学習」について、どのような考えやイメージをお持ちですか。あてはまる番号に3つまで○印をつけてください。

生涯学習に関する考え・イメージは、「生きがい・人生を豊かにする」(59.3%)が最も高く、次いで、「知識・技術高められる」(34.5%)、「余暇を楽しく過ごす」(33.6%)、「仕事・就職に役立つ」(23.0%)、「友人・仲間ができる」(22.1%)となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 余暇を楽しく過ごす	33.6	37.3	28.3	35.2	22.2	25.0	37.5
2 生きがい・人生を豊かにする	59.3	58.2	60.9	61.4	33.3	37.5	87.5
3 ストレス解消になる	15.9	16.4	15.2	15.9	0.0	12.5	37.5
4 友人・仲間ができる	22.1	23.9	19.6	21.6	22.2	12.5	37.5
5 健康づくりに役立つ	12.4	10.4	15.2	11.4	33.3	12.5	0.0
6 老化防止に役立つ	7.1	6.0	8.7	6.8	11.1	12.5	0.0
7 家族や家庭生活に役立つ	2.7	0.0	6.5	2.3	11.1	0.0	0.0
8 知識・技術高められる	34.5	35.8	32.6	35.2	11.1	37.5	50.0
9 資格取得に役立つ	10.6	3.0	21.7	6.8	33.3	12.5	25.0
10 仕事・就職に役立つ	23.0	26.9	17.4	23.9	22.2	25.0	12.5
11 地域や社会との関わりが深められる	7.1	4.5	10.9	5.7	22.2	0.0	12.5
12 地域や社会に貢献できる	9.7	9.0	10.9	11.4	11.1	0.0	0.0
13 社会の変化に対応するために役立つ	7.1	7.5	6.5	5.7	11.1	25.0	0.0
14 その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



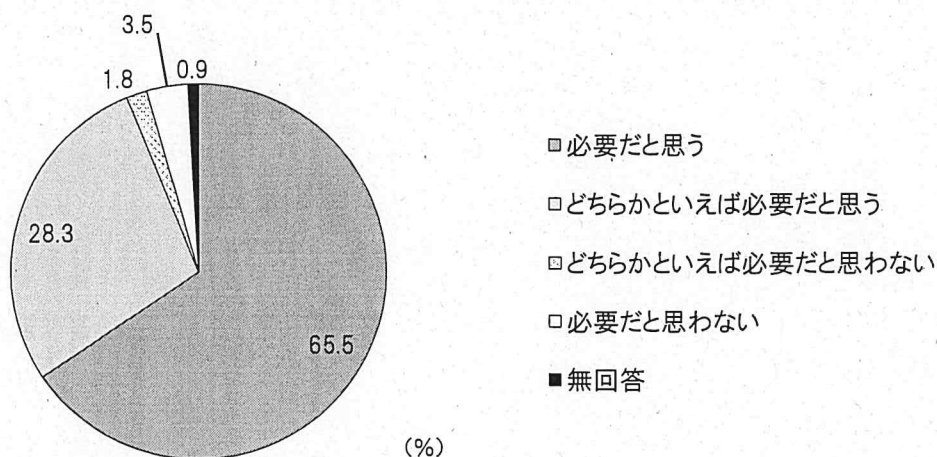
◆生涯学習の必要性

問5 あなたは、生涯学習は必要だと思いますか。

生涯学習は、「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」と合わせて93.8%が必要だと感じています。「必要だと思わない」「どちらかといえば必要だと思わない」と回答した人の割合は5.3%と低くなっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 必要だと思う	65.5	65.7	65.2	61.4	55.6	100.0	87.5
2 どちらかといえば必要だと思う	28.3	25.4	32.6	31.8	33.3	0.0	12.5
3 どちらかといえば必要だと思わない	1.8	1.5	2.2	1.1	11.1	0.0	0.0
4 必要だと思わない	3.5	6.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0
無回答	0.9	1.5	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0



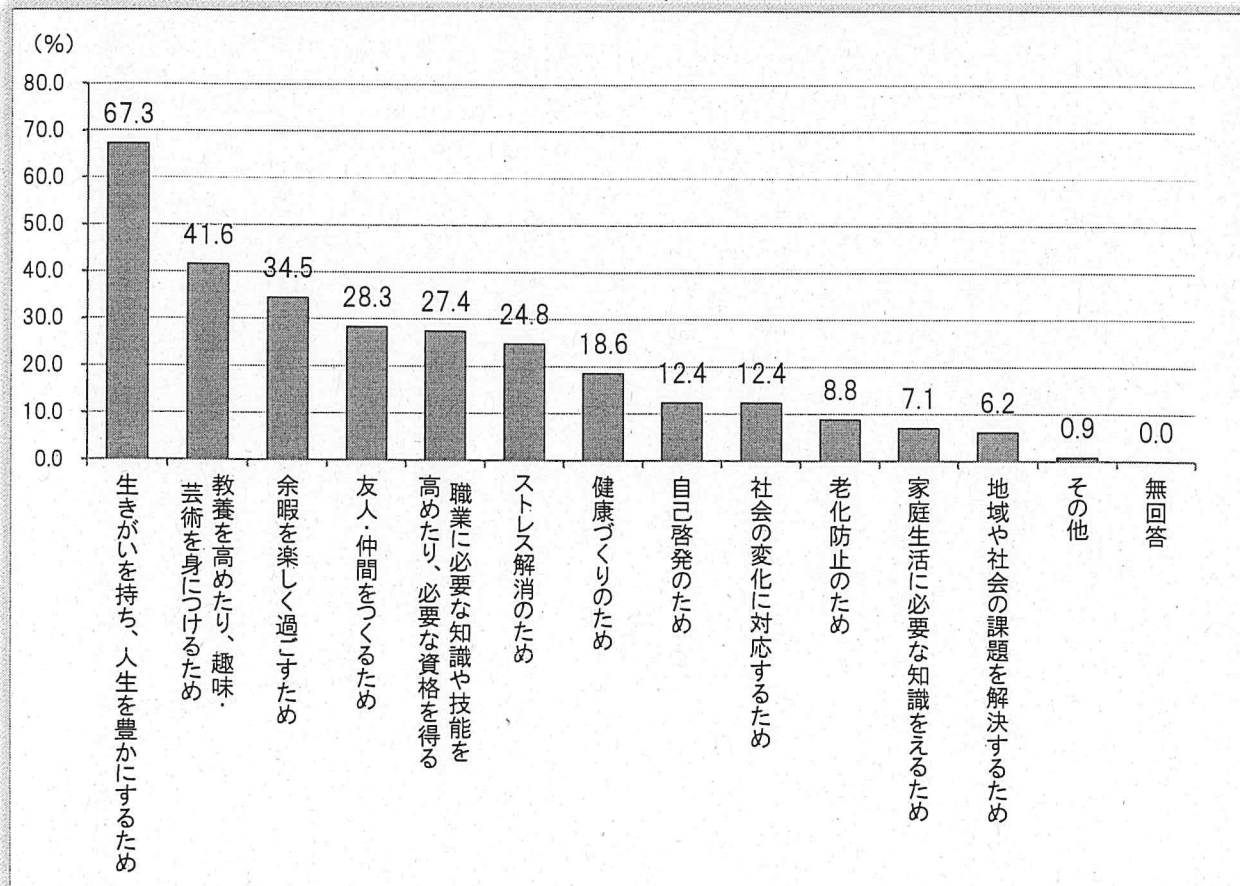
◆生涯学習が必要と思う理由

問6 なぜあなたは、生涯学習が必要だと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

生涯学習が必要な理由は、「生きがいを持ち、人生を豊かにするため」(67.3%)が最も高く、次いで、「教養を高めたり、趣味・芸術を身につけるため」(41.6%)、「余暇を楽しく過ごすため」(34.5%)、「友人・仲間をつくるため」(28.3%)、「職業に必要な知識や技能を高めたり、必要な資格を得るため」(27.4%)となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サンプル数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 余暇を楽しく過ごすため	34.5	34.3	34.8	33.0	33.3	37.5	50.0
2 生きがいを持ち、人生を豊かにするため	67.3	68.7	65.2	64.8	66.7	62.5	100.0
3 ストレス解消のため	24.8	25.4	23.9	25.0	11.1	25.0	37.5
4 友人・仲間をつくるため	28.3	29.9	26.1	29.5	33.3	12.5	25.0
5 健康づくりのため	18.6	16.4	21.7	21.6	11.1	0.0	12.5
6 老化防止のため	8.8	6.0	13.0	9.1	11.1	0.0	12.5
7 教養を高めたり、趣味・芸術を身につけるため	41.6	44.8	37.0	40.9	22.2	62.5	50.0
8 自己啓発のため	12.4	13.4	10.9	6.8	22.2	50.0	25.0
9 家庭生活に必要な知識をえるため	7.1	7.5	6.5	8.0	0.0	0.0	12.5
10 職業に必要な知識や技能を高めたり、必要な資格を得るため	27.4	26.9	28.3	21.6	22.2	62.5	62.5
11 地域や社会の課題を解決するため	6.2	6.0	6.5	4.5	0.0	25.0	12.5
12 社会の変化に対応するため	12.4	13.4	10.9	10.2	11.1	50.0	0.0
13 その他	0.9	1.5	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



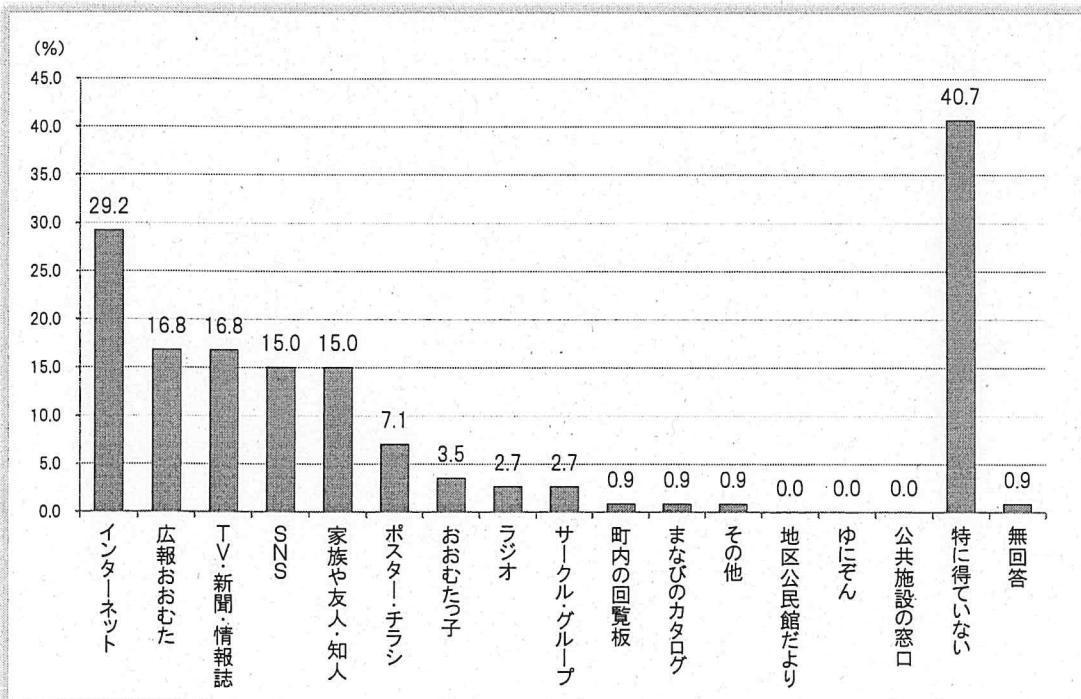
◆生涯学習の情報源

問7 あなたは、生涯学習に関する情報を何から得ていますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

生涯学習に関する情報は「特に得ていない」(40.7%)と回答した割合が最も高くなっています。情報を取得している人では、「インターネット」(29.2%)が最も高く、次いで、「広報おおむた」及び「TV・新聞・情報誌」(16.8%)、「SNS」及び「家族や友人・知人」(15.0%)となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	33人	25人	25人	0人
1 市の広報紙「広報おおむた」	16.8	9.0	28.3	13.6	33.3	25.0	25.0
2 インターネット(市ホームページ等)	29.2	35.8	19.6	29.5	11.1	25.0	50.0
3 SNS(愛情ねっと等)	15.0	20.9	6.5	15.9	11.1	12.5	12.5
4 ラジオ(FMたんと等)	2.7	3.0	2.2	3.4	0.0	0.0	0.0
5 TV・新聞・情報誌	16.8	17.9	15.2	17.0	11.1	12.5	25.0
6 家族や友人・知人	15.0	16.4	13.0	17.0	11.1	0.0	12.5
7 町内の回覧板	0.9	1.5	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
8 地区公民館だより	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9 学習情報誌「まなびのカタログ」	0.9	0.0	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0
10 文化会館情報誌「ゆにぞん」	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11 子育て情報誌「おおむたっ子」	3.5	3.0	4.3	4.5	0.0	0.0	0.0
12 公共施設の窓口	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13 ポスター・チラシ	7.1	3.0	13.0	6.8	0.0	25.0	0.0
14 サークル・グループ	2.7	3.0	2.2	3.4	0.0	0.0	0.0
15 その他	0.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
16 特に得ていない	40.7	38.8	43.5	39.8	55.6	37.5	37.5
無回答	0.9	1.5	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0



◆生涯学習の実施状況・学習ニーズ

問8 あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがありますか。また、今後、どのようなことを学んでみたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この1年間に行った生涯学習は、「学校の正規課程での学習」(54.0%)で最も高く、次いで、「学校の公開講座や教室」(38.1%)、「趣味的なもの」(32.7%)、「教養的なもの」及び「健康・スポーツ」(31.9%)となっています。

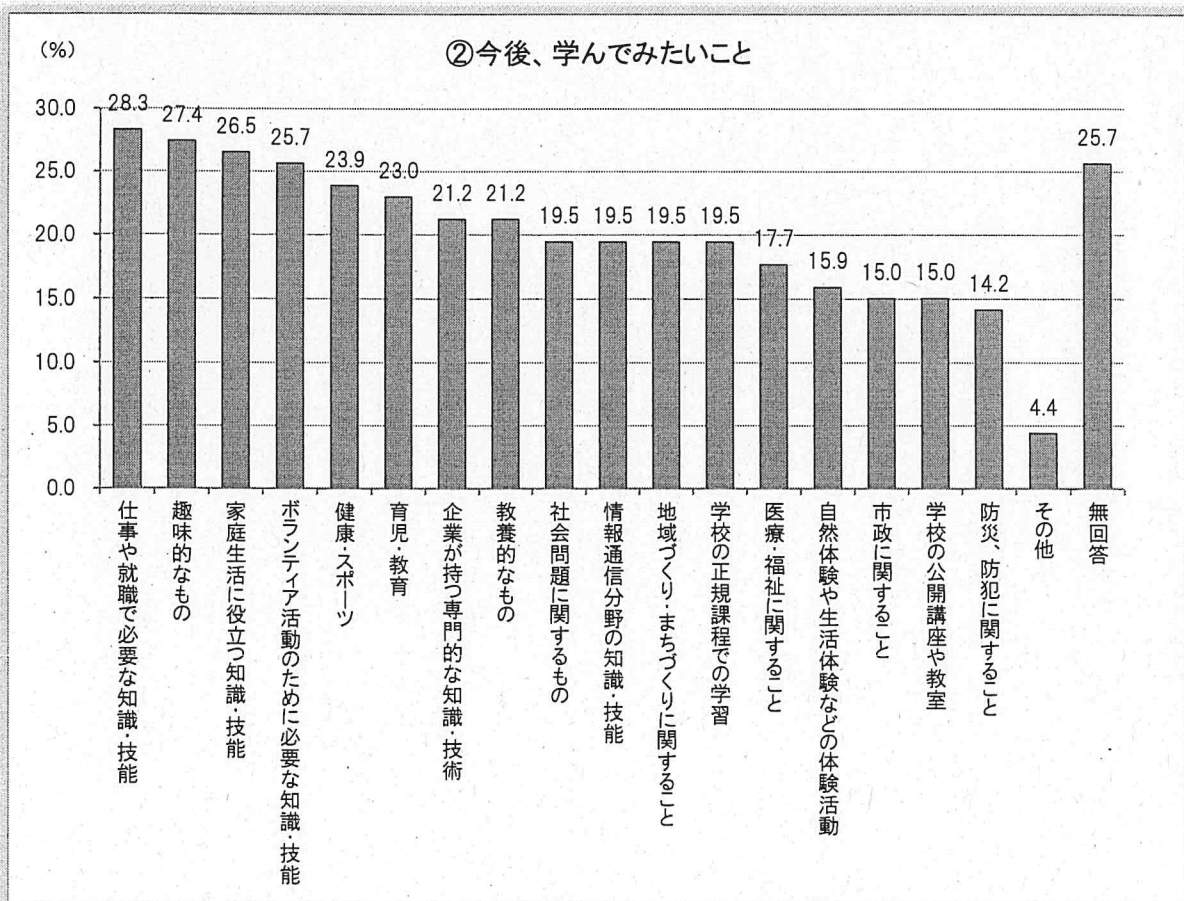
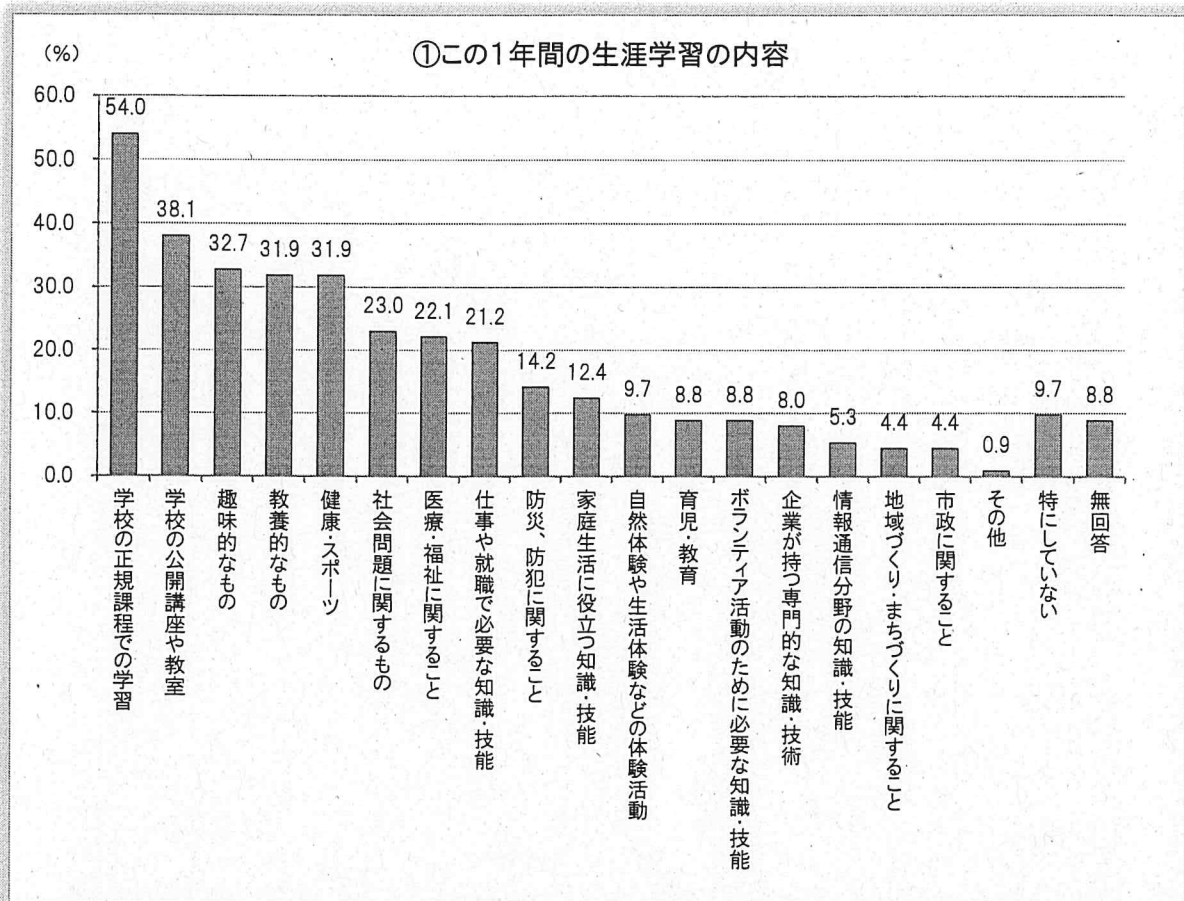
また、今後学んでみたいことは、「仕事や就職に必要な知識・技能」(28.3%)で最も高く、次いで、「趣味的なもの」(27.4%)、「家庭生活に役立つ知識・技能」(26.5%)、「ボランティア活動のために必要な知識・技能」(25.7%)、「健康・スポーツ」(23.9%)となっています。

(単位:%)

①この1年間の生涯学習の内容	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など)	32.7	26.9	41.3	37.5	22.2	12.5	12.5
2 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	31.9	34.3	28.3	33.0	44.4	25.0	12.5
3 社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)	23.0	23.9	21.7	22.7	22.2	25.0	25.0
4 健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)	31.9	32.8	30.4	30.7	44.4	25.0	37.5
5 家庭生活に役立つ知識・技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)	12.4	9.0	17.4	13.6	11.1	12.5	0.0
6 育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)	8.8	9.0	8.7	9.1	11.1	12.5	0.0
7 仕事や就職に必要な知識・技能(知識の習得や資格の取得など)	21.2	19.4	23.9	13.6	33.3	62.5	50.0
8 情報通信分野の知識・技能(プログラムの使い方、ホームページの作り方など)	5.3	6.0	4.3	5.7	0.0	12.5	0.0
9 ボランティア活動のために必要な知識・技能	8.8	9.0	8.7	8.0	11.1	0.0	25.0
10 自然体験や生活体験などの体験活動	9.7	10.4	8.7	9.1	11.1	0.0	25.0
11 防災、防犯に関すること	14.2	9.0	21.7	13.6	11.1	12.5	25.0
12 医療・福祉に関すること	22.1	17.9	28.3	17.0	55.6	12.5	50.0
13 地域づくり・まちづくりに関すること	4.4	7.5	0.0	3.4	11.1	0.0	12.5
14 市政に関すること	4.4	7.5	0.0	3.4	11.1	0.0	12.5
15 企業が持つ専門的な知識・技術	8.0	7.5	8.7	5.7	11.1	0.0	37.5
16 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程での学習	54.0	53.7	54.3	56.8	55.6	12.5	62.5
17 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室	38.1	34.3	43.5	39.8	55.6	12.5	25.0
18 その他	0.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
19 特にしていない	9.7	7.5	13.0	11.4	11.1	0.0	0.0
無回答	8.8	10.4	6.5	9.1	11.1	12.5	0.0

(単位:%)

②今後、学んでみたいこと	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など)	27.4	28.4	26.1	28.4	33.3	12.5	25.0
2 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	21.2	22.4	19.6	20.5	22.2	12.5	37.5
3 社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)	19.5	22.4	15.2	19.3	11.1	37.5	12.5
4 健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)	23.9	23.9	23.9	23.9	11.1	25.0	37.5
5 家庭生活に役立つ知識・技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)	26.5	29.9	21.7	29.5	22.2	12.5	12.5
6 育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)	23.0	20.9	26.1	26.1	22.2	0.0	12.5
7 仕事や就職に必要な知識・技能(知識の習得や資格の取得など)	28.3	29.9	26.1	30.7	11.1	50.0	0.0
8 情報通信分野の知識・技能(プログラムの使い方、ホームページの作り方など)	19.5	26.9	8.7	20.5	33.3	12.5	0.0
9 ボランティア活動のために必要な知識・技能	25.7	26.9	23.9	27.3	33.3	0.0	25.0
10 自然体験や生活体験などの体験活動	15.9	16.4	15.2	15.9	22.2	12.5	12.5
11 防災、防犯に関すること	14.2	17.9	8.7	15.9	11.1	12.5	0.0
12 医療・福祉に関すること	17.7	19.4	15.2	18.2	11.1	12.5	25.0
13 地域づくり・まちづくりに関すること	19.5	17.9	21.7	22.7	11.1	12.5	0.0
14 市政に関すること	15.0	17.9	10.9	17.0	11.1	12.5	0.0
15 企業が持つ専門的な知識・技術	21.2	26.9	13.0	22.7	11.1	37.5	0.0
16 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程での学習	19.5	22.4	15.2	19.3	11.1	25.0	25.0
17 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室	15.0	17.9	10.9	15.9	11.1	25.0	0.0
18 その他	4.4	7.5	0.0	4.5	11.1	0.0	0.0
無回答	25.7	23.9	28.3	23.9	55.6	12.5	25.0



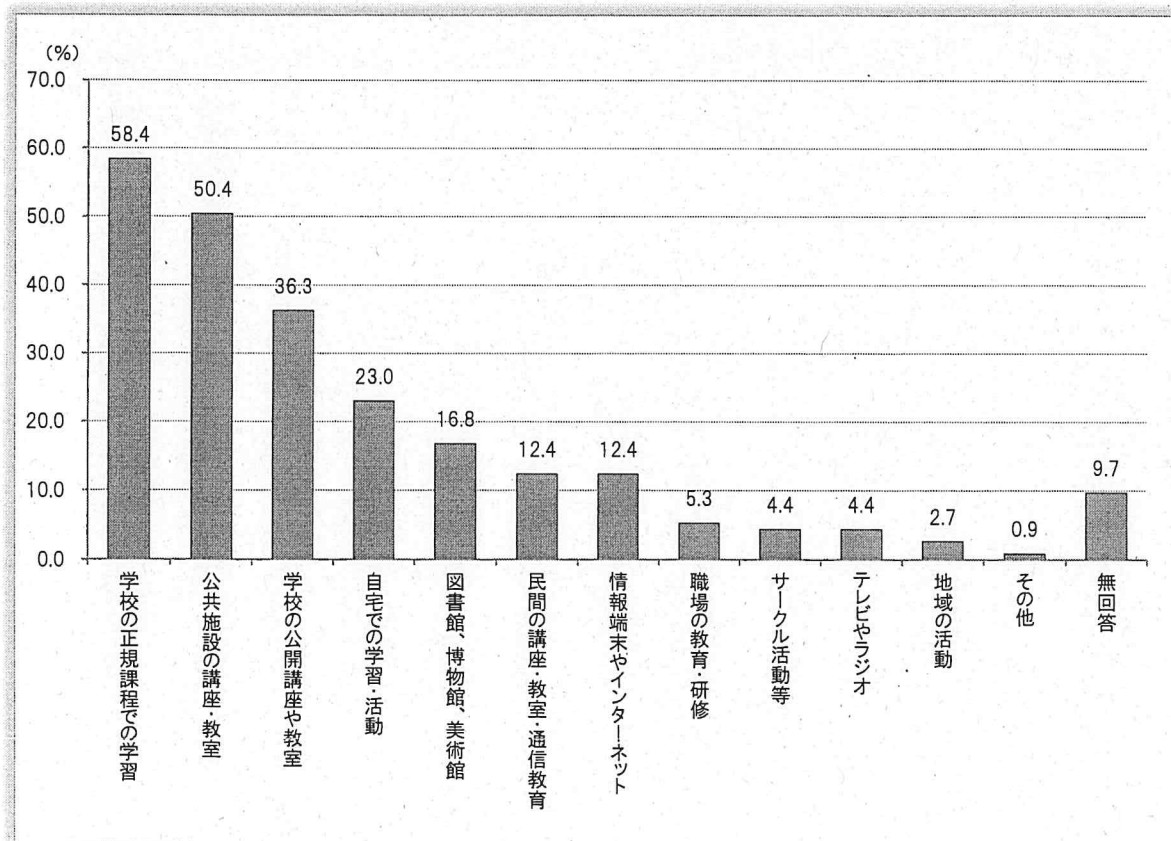
◆生涯学習の場所・形態

問9 あなたは、どのような場所や形態で生涯学習を行いましたか。また、今後行いたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

生涯学習の場所や形態は、「学校の正規課程での学習」(58.4%)で最も高く、次いで「公共施設などの講座・教室」(50.4%)、「学校の公開講座や教室」(36.3%)、「自宅での学習・活動」(23.0%)、「図書館、博物館、美術館」(16.8%)となっています。

(単位: %)

	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 地区公民館、えるる、市立図書館、市民体育館、文化会館などの講座・教室	50.4	47.8	54.3	44.3	66.7	87.5	62.5
2 カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座・教室・通信教育	12.4	11.9	13.0	11.4	0.0	12.5	37.5
3 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程での学習	58.4	61.2	54.3	60.2	66.7	25.0	62.5
4 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室	36.3	31.3	43.5	34.1	55.6	50.0	25.0
5 職場の教育・研修	5.3	7.5	2.2	2.3	0.0	37.5	12.5
6 町内公民館、PTA、子ども会などの地域の活動	2.7	1.5	4.3	3.4	0.0	0.0	0.0
7 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	4.4	6.0	2.2	3.4	0.0	0.0	25.0
8 図書館、博物館、美術館	16.8	14.9	19.6	13.6	33.3	37.5	12.5
9 テレビやラジオ	4.4	4.5	4.3	4.5	0.0	12.5	0.0
10 情報端末やインターネット(eラーニング含む)	12.4	10.4	15.2	9.1	33.3	25.0	12.5
11 自宅での学習・活動(書籍など)	23.0	22.4	23.9	20.5	33.3	50.0	12.5
12 その他	0.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
無回答	9.7	9.0	10.9	11.4	11.1	0.0	0.0



◆生涯学習を行う曜日・時間帯

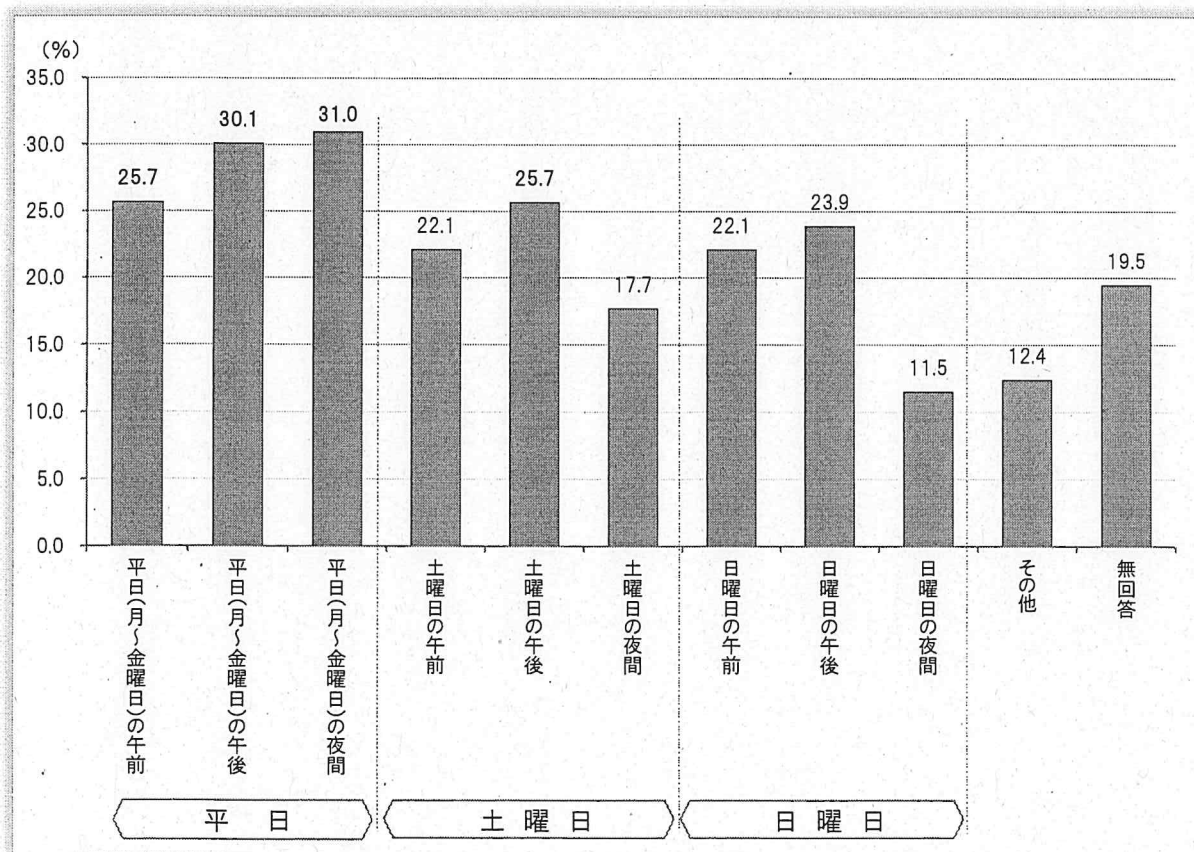
問10 あなたが生涯学習を行うのは何曜日の何時頃ですか。また、今後行う場合は、何曜日の何時頃行いたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。（※夜間とは、午後5時以降をいいます）

生涯学習を行う時間帯は、「平日の夜間」(31.0%)が最も高く、次いで「平日の午後」(30.1%)、「平日の午前」及び「土曜日の午後」(25.7%)、「日曜日の午後」(23.9%)となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 平日(月～金曜日)の午前	25.7	22.4	30.4	27.3	22.2	12.5	25.0
2 平日(月～金曜日)の午後	30.1	22.4	41.3	34.1	22.2	0.0	25.0
3 平日(月～金曜日)の夜間	31.0	29.9	32.6	26.1	22.2	62.5	62.5
4 土曜日の午前	22.1	22.4	21.7	20.5	33.3	25.0	25.0
5 土曜日の午後	25.7	23.9	28.3	27.3	33.3	12.5	12.5
6 土曜日の夜間	17.7	16.4	19.6	15.9	22.2	25.0	25.0
7 日曜日の午前	22.1	20.9	23.9	22.7	33.3	12.5	12.5
8 日曜日の午後	23.9	22.4	26.1	23.9	22.2	25.0	25.0
9 日曜日の夜間	11.5	11.9	10.9	10.2	11.1	25.0	12.5
10 その他	12.4	17.9	4.3	12.5	11.1	12.5	12.5
無回答	19.5	19.4	19.6	22.7	22.2	0.0	0.0

※夜間は午後5時以降



◆生涯学習をしない理由(できない理由)

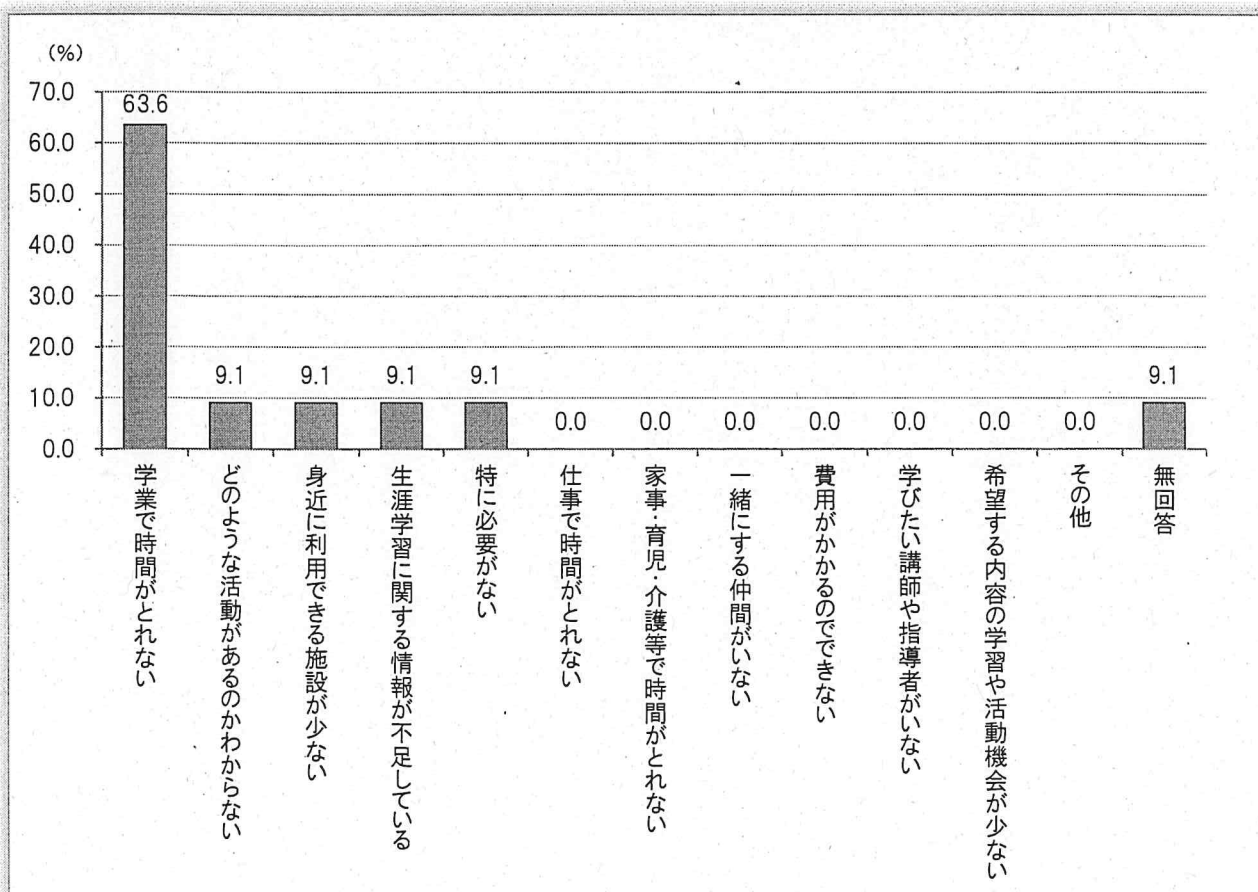
《問8で19「(生涯学習を)特にしていない」とお答えの人におたずねします》

問11 あなたが生涯学習をしない理由(できない理由)は何ですか。あてはまる番号に3つまで○印をつけてください。

生涯学習をしない理由(できない理由)は、「学業で時間がとれない」(63.6%)が最も多く、それ以外は「どのような活動があるのかわからない」、「身近に利用できる施設が少ない」、「生涯学習に関する情報が不足している」、「特に必要がない」(各9.1%)となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サンプル数	11人	5人	6人	10人	1人	0人	0人
1 学業で時間がとれない	63.6	60.0	66.7	60.0	100.0	0.0	0.0
2 仕事で時間がとれない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 家事・育児・介護等で時間がとれない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 一緒にする仲間がいない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 費用がかかるのでできない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 どのような活動があるのかわからない	9.1	0.0	16.7	10.0	0.0	0.0	0.0
7 学びたい講師や指導者がいない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8 身近に利用できる施設が少ない	9.1	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
9 希望する内容の学習や活動機会が少ない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10 生涯学習に関する情報が不足している	9.1	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
11 その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12 特に必要がない	9.1	0.0	16.7	0.0	100.0	0.0	0.0
無回答	9.1	0.0	16.7	10.0	0.0	0.0	0.0



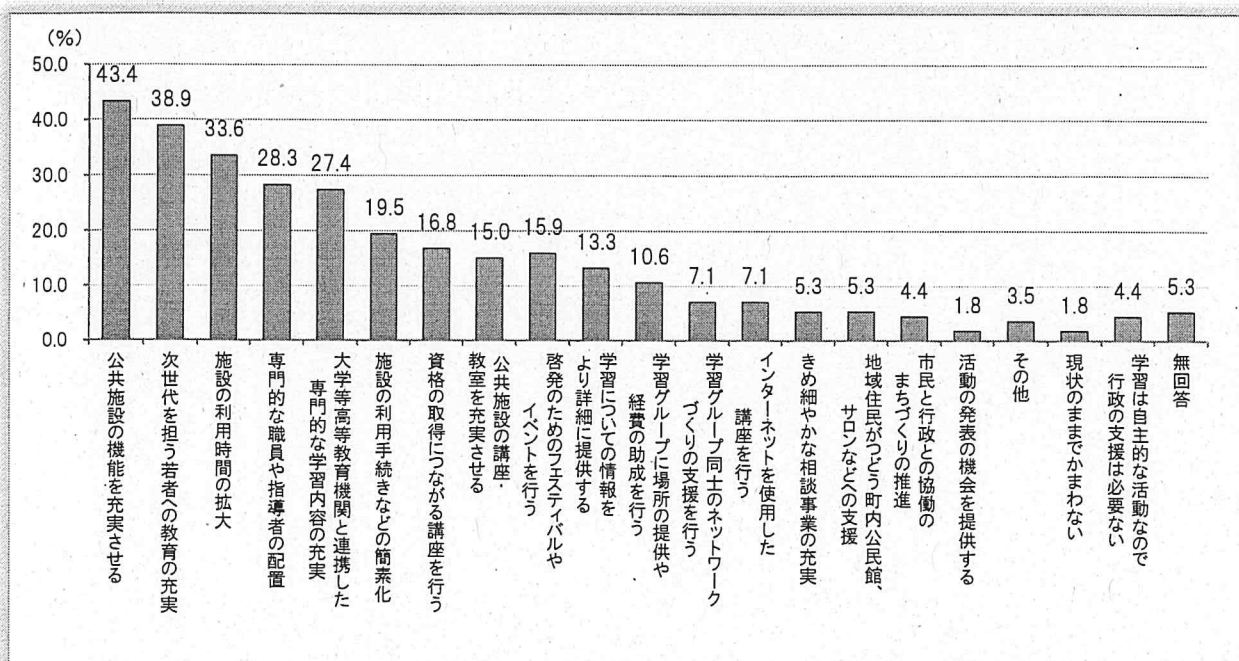
◆行政が力を入れるべきこと

問12 生涯学習が盛んなまちにするために、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号に5つまで○印をつけてください。

生涯学習が盛んなまちにするために、行政が力を入れるべきことは、「公共施設の機能を充実させる」(43.4%)が最も高く、次いで「次世代を担う若者への教育の充実」(38.9%)、「施設の利用時間の拡大」(33.6%)、「専門的な職員や指導者の配置」(28.3%)、「大学等高等教育機関と連携した専門的な学習内容の充実」(27.4%)となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 専門的な職員や指導者の配置	28.3	35.8	17.4	26.1	33.3	50.0	25.0
2 大学等高等教育機関と連携した専門的な学習内容の充実	27.4	34.3	17.4	28.4	11.1	12.5	50.0
3 次世代を担う若者への教育の充実	38.9	50.7	21.7	40.9	11.1	50.0	37.5
4 施設の利用手続きなどの簡素化	19.5	16.4	23.9	15.9	33.3	25.0	37.5
5 施設の利用時間の拡大(早朝、夜間など)	33.6	37.3	28.3	33.0	33.3	25.0	50.0
6 きめ細やかな相談事業の充実	5.3	6.0	4.3	3.4	11.1	0.0	25.0
7 地域住民がつどう町内公民館、サロンなどへの支援	5.3	6.0	4.3	6.8	0.0	0.0	0.0
8 学習についての情報(講師・内容・時間・場所・費用)をより詳細に提供する	13.3	11.9	15.2	8.0	11.1	37.5	50.0
9 地区公民館、えるる、市立図書館、市民体育館、文化会館などの施設の機能を充実させる	43.4	49.3	34.8	46.6	33.3	25.0	37.5
10 地区公民館、えるる、市立図書館、市民体育館、文化会館などの講座・教室を充実させる	15.0	11.9	19.6	14.8	22.2	12.5	12.5
11 啓発のためのフェスティバルやイベントを行う	15.9	19.4	10.9	15.9	11.1	12.5	25.0
12 学習グループに、場所の提供や経費の助成を行う	10.6	11.9	8.7	12.5	11.1	0.0	0.0
13 学習グループ同士のネットワークづくりの支援を行う	7.1	10.4	2.2	6.8	11.1	0.0	12.5
14 資格の取得につながる講座を行う	16.8	14.9	19.6	12.5	0.0	62.5	37.5
15 インターネットを使用した講座を行う	7.1	7.5	6.5	6.8	0.0	12.5	12.5
16 活動の発表の機会を提供する	1.8	3.0	0.0	1.1	11.1	0.0	0.0
17 市民と行政との協働のまちづくりの推進	4.4	4.5	4.3	3.4	0.0	12.5	12.5
18 その他	3.5	4.5	2.2	3.4	0.0	0.0	12.5
19 現状のままでかまわない	1.8	0.0	4.3	2.3	0.0	0.0	0.0
20 学習は自主的な活動なので行政の支援は必要ない	4.4	3.0	6.5	3.4	22.2	0.0	0.0
無回答	5.3	4.5	6.5	5.7	0.0	12.5	0.0



(2) ボランティア活動・地域活動について

◆ ボランティア活動について

問13 あなたは、この1年くらいの間に、どのようなボランティア活動を行いましたか。また、今後行いたいと思う活動はありますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この1年間に行ったボランティア活動の内容は、「募金活動や災害援助活動」(23.0%)が最も高く、次いで「環境美化、リサイクル活動」(20.4%)、「福祉施設等での活動」(15.9%)、「高齢者、障害児・者等への支援」(15.0%)、「自然環境保護・環境教育に関する活動」(11.5%)となっています。

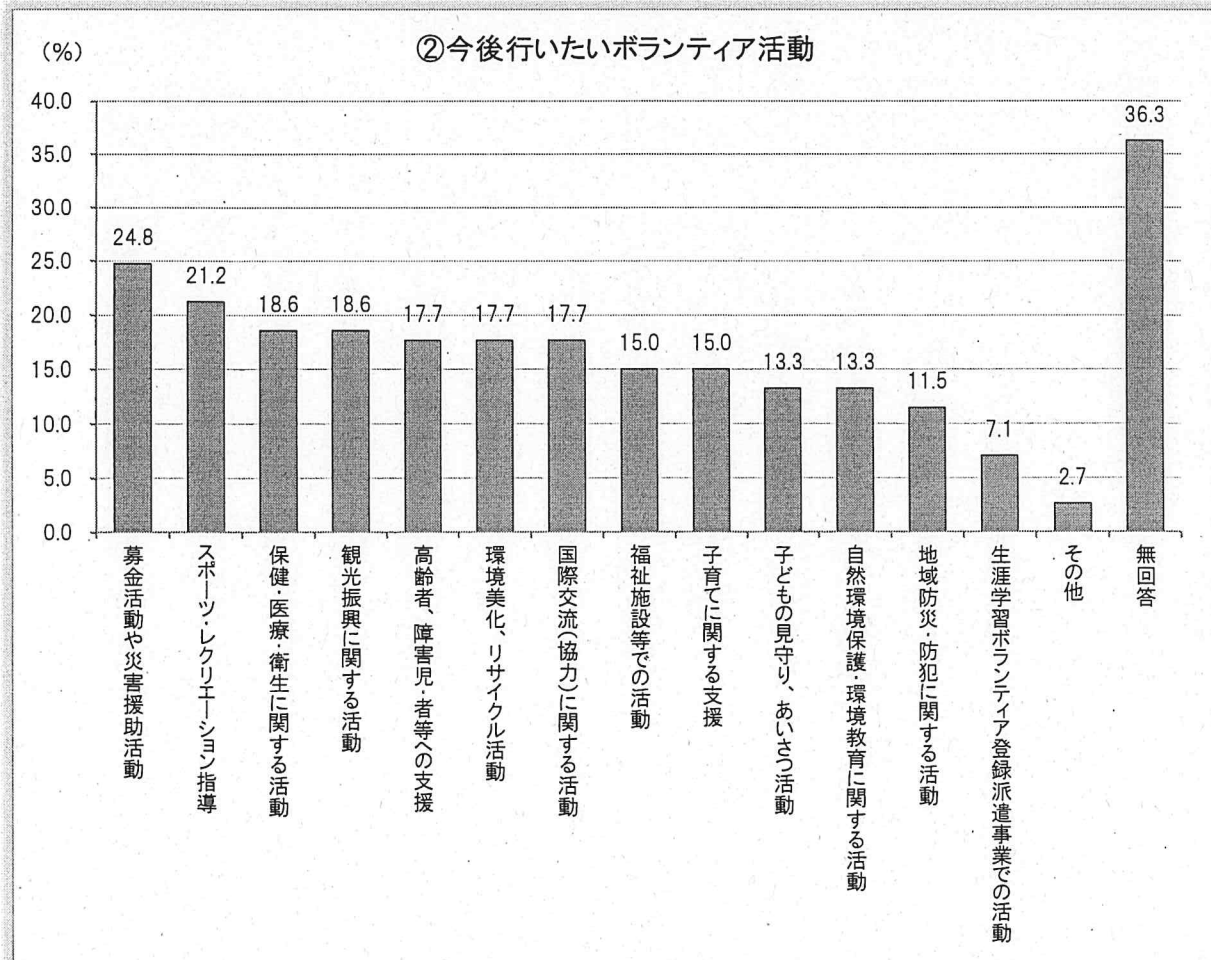
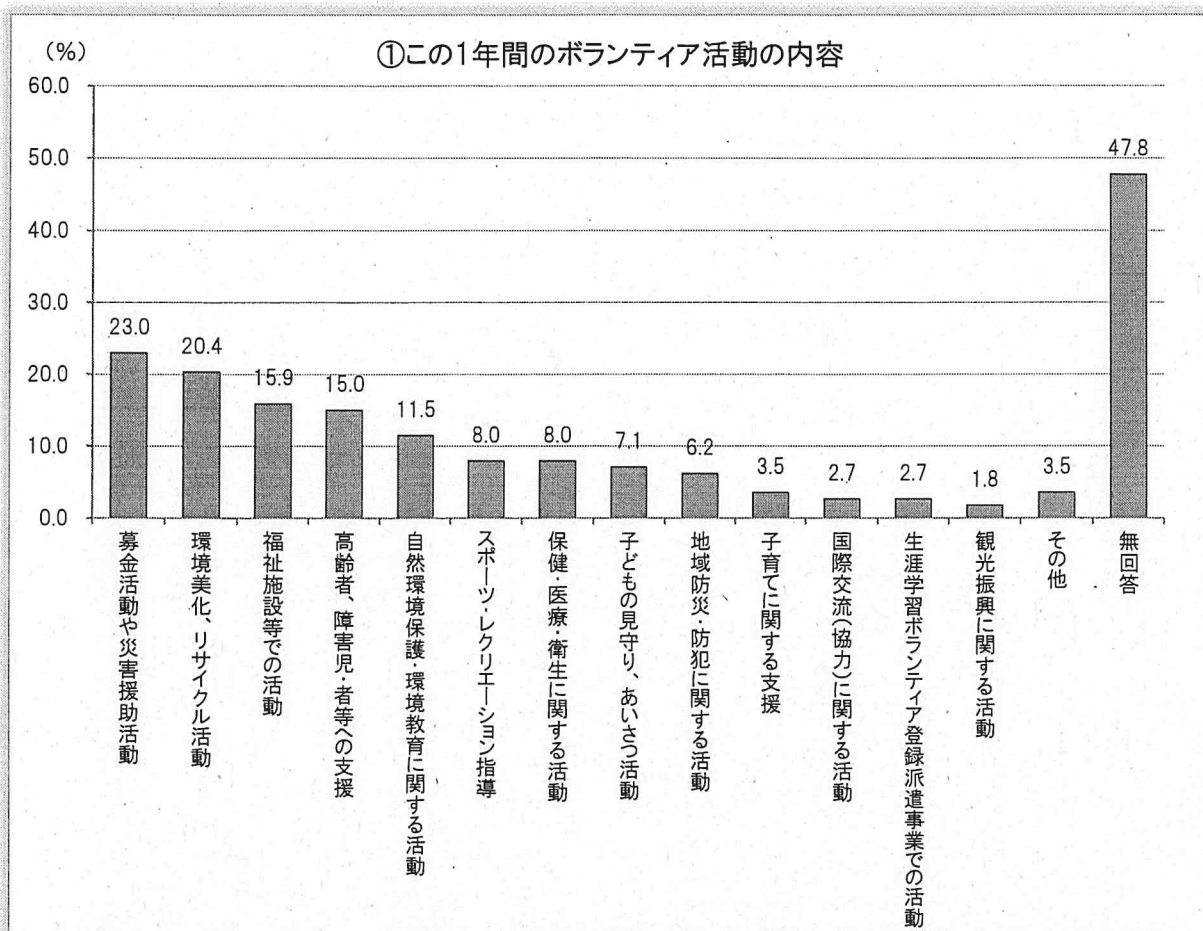
また、今後行いたいと思うボランティア活動の内容は、「募金活動や災害援助活動」(24.8%)が最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション指導」(21.2%)、「保健・医療・衛生に関する活動」及び「観光振興に関する活動」(18.6%)となっています。

(単位:%)

①この1年間のボランティア活動の内容	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 福祉施設等での活動	15.9	11.9	21.7	13.6	44.4	12.5	12.5
2 高齢者、障害児・者等への支援	15.0	14.9	15.2	13.6	22.2	25.0	12.5
3 子どもの見守り、あいさつ活動	7.1	6.0	8.7	8.0	0.0	0.0	12.5
4 子育てに関する支援	3.5	3.0	4.3	4.5	0.0	0.0	0.0
5 スポーツ・レクリエーション指導	8.0	6.0	10.9	6.8	11.1	12.5	12.5
6 自然環境保護・環境教育に関する活動	11.5	13.4	8.7	12.5	0.0	12.5	12.5
7 環境美化(公園・道路のゴミ拾いなど)、リサイクル活動	20.4	19.4	21.7	25.0	0.0	12.5	0.0
8 募金活動や災害援助活動	23.0	23.9	21.7	25.0	0.0	12.5	37.5
9 国際交流(協力)に関する活動(通訳、難民援助、留学生援助など)	2.7	4.5	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
10 保健・医療・衛生に関する活動(食育、病院ボランティアなど)	8.0	6.0	10.9	6.8	11.1	25.0	0.0
11 地域防災・防犯に関する活動	6.2	7.5	4.3	5.7	0.0	12.5	12.5
12 観光振興に関する活動(観光ボランティアなど)	1.8	3.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
13 生涯学習ボランティア登録派遣事業(まなばんかん)での活動	2.7	4.5	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
14 その他	3.5	3.0	4.3	2.3	0.0	12.5	12.5
無回答	47.8	49.3	45.7	48.9	44.4	50.0	37.5

(単位:%)

②今後行いたいボランティア活動	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 福祉施設等での活動	15.0	14.9	15.2	17.0	11.1	0.0	12.5
2 高齢者、障害児・者等への支援	17.7	19.4	15.2	19.3	22.2	0.0	12.5
3 子どもの見守り、あいさつ活動	13.3	14.9	10.9	13.6	22.2	0.0	12.5
4 子育てに関する支援	15.0	13.4	17.4	14.8	22.2	25.0	0.0
5 スポーツ・レクリエーション指導	21.2	23.9	17.4	19.3	44.4	12.5	25.0
6 自然環境保護・環境教育に関する活動	13.3	19.4	4.3	12.5	22.2	0.0	25.0
7 環境美化(公園・道路のゴミ拾いなど)、リサイクル活動	17.7	14.9	21.7	18.2	33.3	0.0	12.5
8 募金活動や災害援助活動	24.8	25.4	23.9	25.0	33.3	12.5	25.0
9 国際交流(協力)に関する活動(通訳、難民援助、留学生援助など)	17.7	14.9	21.7	18.2	33.3	12.5	0.0
10 保健・医療・衛生に関する活動(食育、病院ボランティアなど)	18.6	16.4	21.7	19.3	33.3	12.5	0.0
11 地域防災・防犯に関する活動	11.5	14.9	6.5	11.4	22.2	0.0	12.5
12 観光振興に関する活動(観光ボランティアなど)	18.6	16.4	21.7	18.2	11.1	37.5	12.5
13 生涯学習ボランティア登録派遣事業(まなばんかん)での活動	7.1	7.5	6.5	8.0	11.1	0.0	0.0
14 その他	2.7	4.5	0.0	2.3	11.1	0.0	0.0
無回答	36.3	38.8	32.6	34.1	33.3	62.5	37.5



◆地域活動について

問14 地域(住んでいる小学校区)で『地域活動』があつていることを知っていますか。また、参加した地域活動はありますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

住んでいる小学校区であつていることを知っている地域活動の内容は、「子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動」(46.9%)が最も高く、次いで「地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動」(44.2%)、「交通安全活動」(36.3%)、「リサイクル・地域の清掃などの環境美化活動」(35.4%)、「防災訓練などの防災活動」(27.4%)となっています。参加したことのある地域活動については、「特にない」(17.7%)が最も高くなっています。参加した活動では、「地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動」(8.8%)、「リサイクル・地域の清掃などの環境美化活動」(8.0%)、「学校への支援活動」(6.2%)、「子どもの居場所・通学合宿・子ども食堂など青少年育成活動」(4.4%)となっています。

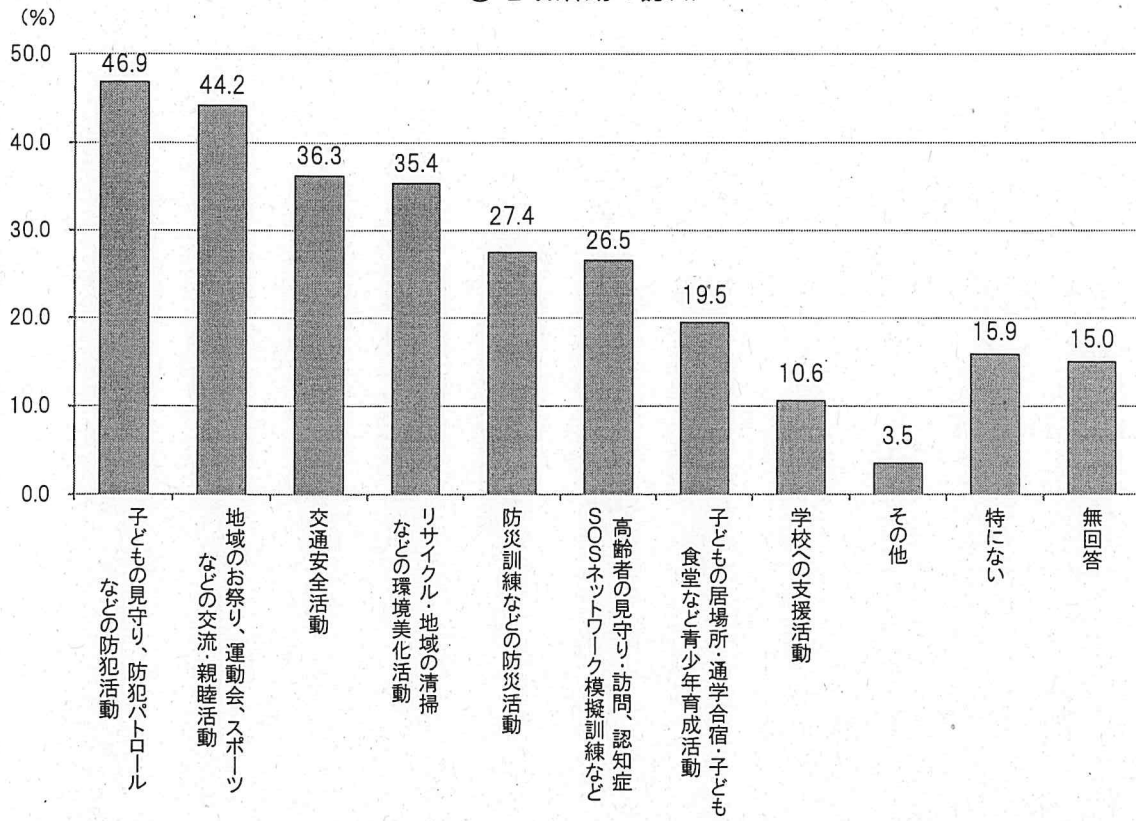
(単位:%)

①地域活動の認知	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 リサイクル・地域の清掃などの環境美化活動	35.4	31.3	41.3	33.0	55.6	25.0	50.0
2 高齢者の見守り・訪問、認知症SOSネットワーク模擬訓練など	26.5	22.4	32.6	22.7	55.6	25.0	37.5
3 子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動	46.9	43.3	52.2	48.9	55.6	25.0	37.5
4 防災訓練などの防災活動	27.4	31.3	21.7	27.3	33.3	25.0	25.0
5 交通安全活動	36.3	32.8	41.3	35.2	66.7	25.0	25.0
6 子どもの居場所・通学合宿・子ども食堂など青少年育成活動	19.5	23.9	15.2	22.7	11.1	12.5	12.5
7 学校への支援活動	10.6	14.9	4.3	11.4	11.1	12.5	0.0
8 地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動	44.2	35.8	54.3	40.9	55.6	37.5	62.5
9 その他	3.5	6.0	0.0	3.4	11.1	0.0	0.0
10 特にない	15.9	17.9	13.0	15.9	11.1	37.5	0.0
無回答	15.0	22.4	4.3	13.6	11.1	25.0	25.0

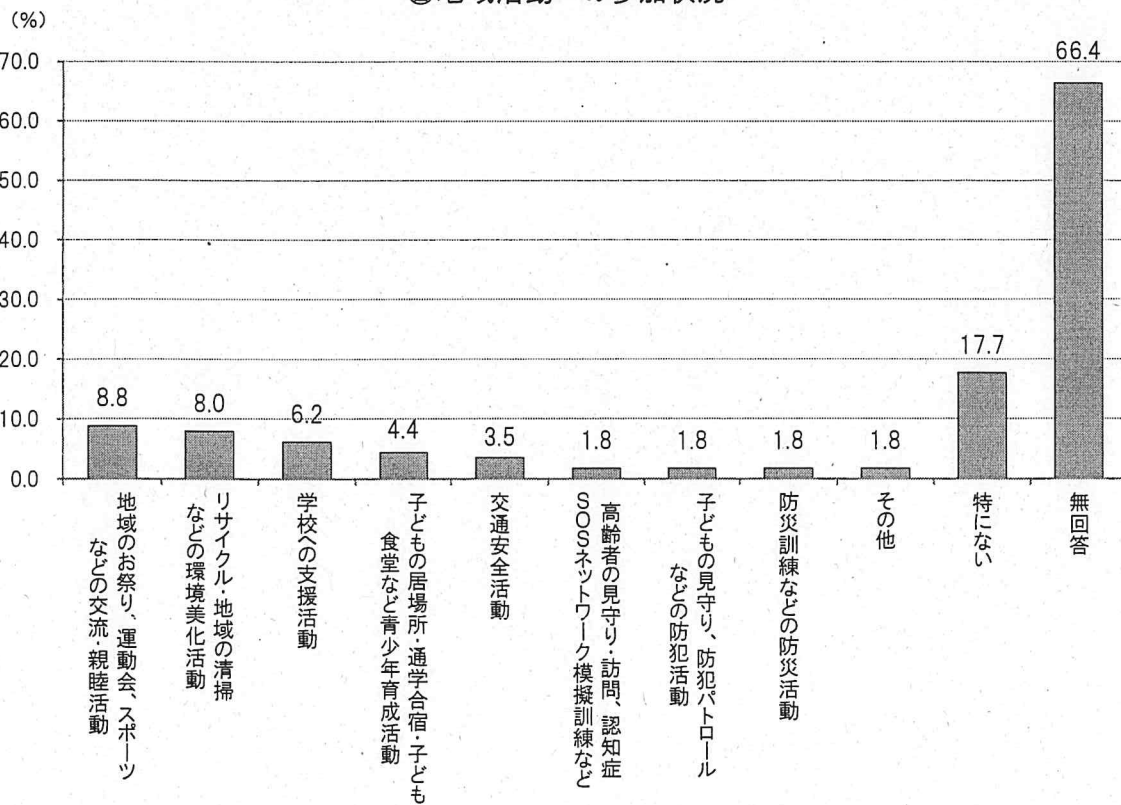
(単位:%)

②地域活動への参加状況	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 リサイクル・地域の清掃などの環境美化活動	8.0	9.0	6.5	9.1	0.0	12.5	0.0
2 高齢者の見守り・訪問、認知症SOSネットワーク模擬訓練など	1.8	3.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
3 子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動	1.8	3.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
4 防災訓練などの防災活動	1.8	3.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
5 交通安全活動	3.5	4.5	2.2	3.4	0.0	12.5	0.0
6 子どもの居場所・通学合宿・子ども食堂など青少年育成活動	4.4	6.0	2.2	4.5	0.0	12.5	0.0
7 学校への支援活動	6.2	7.5	4.3	8.0	0.0	0.0	0.0
8 地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動	8.8	13.4	2.2	10.2	0.0	12.5	0.0
9 その他	1.8	3.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
10 特にない	17.7	17.9	17.4	19.3	11.1	25.0	0.0
無回答	66.4	62.7	71.7	63.6	88.9	37.5	100.0

①地域活動の認知



②地域活動への参加状況



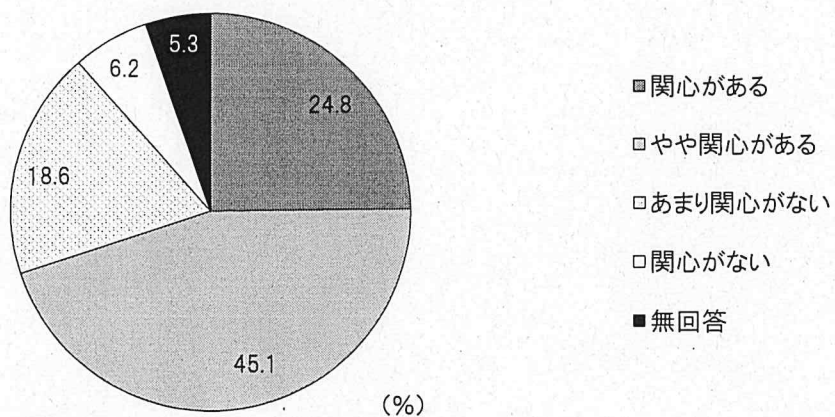
◆ボランティア・地域活動への関心度

問15 あなたは、若者自身が企画し、実施するボランティア活動や地域活動に関心がありますか。あてはまる番号に○印をつけてください。

若者自身が企画し、実施するボランティア活動や地域活動への関心は、「関心がある」「やや関心がある」と回答した割合が69.9%であり、「あまり関心がない」「関心がない」と回答した人の割合24.8%を上回っています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳
サ ン プ ル 数	113人	67人	46人	88人	9人	8人	8人
1 関心がある	24.8	23.9	26.1	27.3	22.2	0.0	25.0
2 やや関心がある	45.1	44.8	45.7	46.6	22.2	62.5	37.5
3 あまり関心がない	18.6	17.9	19.6	15.9	33.3	12.5	37.5
4 関心がない	6.2	9.0	2.2	3.4	22.2	25.0	0.0
無回答	5.3	4.5	6.5	6.8	0.0	0.0	0.0



(3) 自由記述

問 16 生涯学習やボランティア活動・地域活動について、何かご意見があれば自由にお書きください。

10代・男性	生涯学習施設の充実、拡大に力を注いでいただけたらと思います。
10代・男性	「えるる」のような施設を増やしてください。
10代・男性	「えるる」の存在が僕のやる気を出させてくれました。私は「えるる」に感謝しています。「えるる」で仕事をされている方の笑顔がとても良いです。これからもずっと笑っていて欲しいです。We Love えるる。
10代・女性	「えるる」以外にも「えるる」のような勉強ができる場所が欲しいです。
10代・男性	市内の成績優秀者に助成金を出す。
30代・男性	動機付けをどのようにしていくか課題であり、必要時にアクセスできる窓口（ネットを含めて気軽に行ける所）があれば良いと思う。行政、事業所等もレスポンスを上げないと上手くマッチングしない。 また、必要時、地域の福祉事業所や各専門職団体（看護協会、リハビリ系協会、社会福祉会、精神保健福祉協会等）と連携を取り、質を高めたり、大牟田でできることを一緒に探すことも必要だと思う。
30代・男性	動物園や有明海を学ぶ会を活用したほうが良い。
10代・女性	地域を活性化するための地域交流や行事に参加させるためにもっと市民に呼びかけをして欲しい（広告や回覧板等で）。観光スポットに若者をスタッフとして導入し、若者ならではのアイデアや工夫を活かしてもっと観光客を増やし、最終的に大牟田の人口を増加させていきたい。
10代・男性	学校に直接連絡して生徒達に宣伝すると良いと思う。
10代・女性	広報紙を見ていると興味のある活動はたくさんあるのですが、私が住んでいる地域からは行くのが大変であきらめてしまいます。JRは昼間1時間に1本しか来ないし、高校生は車を運転できないので自転車で行くしかありません。そうになるととても面倒です。やってみたい活動はたくさんあるのに、交通の便が悪すぎて行く気になりません。例えば、市でバスを購入し、講座など行う団体に貸し出してその団体は受講を申し込んだ人にバスに乗りたくないか希望を聞き、希望者を迎えに行くことを試みてはいかがでしょうか。
10代・女性	ボランティアに参加したいという気持ちはあるがなかなか情報が得られず、また1人で参加することがおっくうで参加しづらいと思います。
10代・男性	東大理Ⅲ頑張ります。

※原則、記載された原文のまま掲載しています。

3. インタビュー調査「若者意識調査」から見てくるもの

(1) 生涯学習は、生きがい・人生を豊かにする手段として必要と感じている

生涯学習は、全体の 93.8%が必要だと感じています。その理由は、「生きがいを持ち、人生を豊かにするため」(67.3%)が最も高く、次いで「教養を高めたり、趣味・芸術を身につけるため」(41.6%)となっています。また、今後学んでみたいことでも、「趣味的なもの」(27.4%)が2番目に高くなっています。

以上のことから、若者にとって生涯学習は、人生を豊かにし、教養や趣味・芸術を身につける手段として必要と感じていることが考えられます。

(2) 学習情報を特に得ていない若者が多く、インターネットを中心とした情報提供が必要

生涯学習の情報源は、「特に得ていない」(40.7%)が最も高く、次いで「インターネット(市ホームページ等)」(29.2%)、「広報おおむた」、「TV・新聞・情報誌」(16.8%)となっています。

以上のことから、若者に対する学習情報の提供の充実が必要であるとともに、その手段として、インターネットを中心とした情報提供が必要と思われます。

(3) 学習ニーズの多様化と無関心の二極化

今後学んでみたいことは、「仕事や就職に必要な知識・技能」(28.3%)が最も高く、次いで「趣味的なもの」(27.4%)、「家庭生活に役立つ知識・技能」(26.5%)、「ボランティア活動のために必要な知識・技能」(25.7%)となっており、18項目中8項目が20%を超えています。一方、「無回答」についても25.7%となっています。

以上のことから、様々な分野を学習したいと考えている若者が多くいる反面、無関心(無回答)な若者も多いことが判明しました。

(4) 学校、公共施設(社会教育施設)を生涯学習の場所・形態として活用している

生涯学習を行っている場所や形態は、「学校の正規課程での学習」が最も高く、次いで「公共施設などでの講座・教室」(50.4%)となっており、学校、公共施設(社会教育施設)が多く活用されています。

(5) 公共施設(社会教育施設)の機能の充実や若者の教育の充実が求められている

生涯学習が盛んなまちにするために、若者が行政に対して求めていることは、「公共施設の機能の充実」(43.4%)が最も高く、次いで「次世代を担う若者への教育の充実」(38.9%)、「施設の利用時間の拡大」(33.6%)となっています。

なお、前述の通り、若者の学習ニーズは「仕事や就職に必要な知識・技術」(28.3%)が最も高いことが判明した一方、「資格の取得につながる講座」は16.8%にとどまっています。

(6) 「募金活動や災害援助活動」、「スポーツ・レクリエーション指導」に関する関心が高い

この1年くらいの間に行ったボランティア活動は、「募金活動や災害援助活動」(23.0%)が最も高くなっています。

また、今後行いたいボランティア活動でも、同項目(24.8%)が最も高くなっており、近年の熊本地震(2016年4月)や九州北部豪雨(2017年7月)を契機に募金活動や災害援助活動に高い関心を持った若者が増加したものと考えられます。このほか、今後行いたいボランティア活動では、「スポーツ・レクリエーション指導」(21.2%)が2番目に高くなっています。

(7) 地域活動への参加は少ないが、認識度は高いことから、関心を高めるための取り組みが必要

住んでいる小学校区での地域活動への参加については、「無回答」(66.4%)が最も高く、次いで「特になし」(17.7%)となり、分野を問わず「参加している」と回答した人が10%未満と非常に少ないことがわかりました。

一方、地域活動の認知については、「子どもの見守り、防犯パトロール等の防犯活動」(46.9%)や「地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動」(44.2%)をはじめ、様々な活動を知っていると回答しています。

以上のことから、地域活動への関心を高めるための取り組みが必要と思われます。

(8) 若者自身が企画、実施するボランティア活動や地域活動の機会を設けることが必要

若者自身が企画し、実施するボランティア活動や地域活動については、69.9%が「関心がある」または「やや関心がある」と回答しています。また、(7)でも述べたように、地域活動への参加は少ないものの、認知度については、高い結果が得られました。

以上のことから、ボランティア活動や地域活動を若者自らが企画・実施する機会を設けることによって、地域活動への参加が高くなり、ひいては住んでいる地域への愛着や誇りを育むことが期待されます。